

対象校No. 629

注4

学校コード F114310104721

注3

設置年度

令和

6年度

計画の区分： 学部の学科の設置

注1

届出

注2

麻布大学

獣医学部

獣医保健看護学科

【届出】設置に係る設置計画履行状況報告書
(改正前大学設置基準適用)

学校法人麻布獣医学園
令和6年5月1日現在

作成担当者

担当部局(課)名 総務部企画課

職名・氏名 カチョウ ヤマウチ シュンヤ
課長・山内 俊哉

電話番号 042-754-7111 (内線2823)
(夜間)

e-mail kikaku@azabu-u.ac.jp

(注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。

2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。

設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には現在の名称を記載し、その下欄に

()書きにて、設置時の旧名称を記載してください。

例) 〇〇大学 △△学部 □□学科

(旧名称：◇◇学科(平成◇◇年度より学科名称変更))

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例)

・大学の設置の場合：「〇〇大学」

・学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」

・学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」

・短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 △△学科」

・大学院設置の場合：「〇〇大学大学院」

・大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」

・大学院の研究科の専攻の設置等の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科 〇〇専攻(修士課程)」

・通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科(通信教育課程)」

3 学校コードについては、以下URLを確認の上、該当番号を記載してください。

なお、該当がない場合は、本番号は学校基本調査での「学校コード」と同様の番号ですので、
当該番号を記載してください。

https://www.mext.go.jp/b_menu/toukei/mext_01087.html

4 対象校No.については、「【別紙】令和6年度AC報告書提出対象学科等.pdf」より、
該当番号を記載してください。

目次

獣医学部

＜獣医保健看護学科＞	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	1
2. 授業科目の概要	5
3. 施設・設備の整備状況、経費	11
4. 既設大学等の状況	12
5. 教員組織の状況	13
6. 附帯事項等に対する履行状況等	30
7. その他全般的事項	31

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設 置 者

学校法人麻布獣医学園

(2) 大 学 名

麻布大学

(3) 調査対象大学等の位置

〒252-5201

神奈川県相模原市中央区淵野辺1-17-71

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職 名	設 置 時	変 更 状 況	備 考
理 事 長	(オグラ ヒロアキ) 小倉 弘明 (令和3年9月)		
学 長	(カワカミ ヤスシ) 川上 泰 (令和3年11月)		
学 部 長	(ウエタケ カツジ) 植竹 勝治 (令和4年4月)		
学科長等	(シマヅ ヨシヒト) 島津 徳人 (令和6年4月)		

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。

(例) 令和5年度に報告済の内容 → (5)

令和6年度に報告する内容 → (6)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載（昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正）するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
- ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
- ・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部・学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください(入試区分ごとではありません)。
・ なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位(大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」)のほか、それらのコースや専攻単位でも記載したものを、別ファイルにて提出してください。
・ 様式は、令和元年度開設の4年制の学科が完成年度を越えて報告する場合(令和6年度までの6年間)ですが、設置計画履行状況等調査の対象期間が7年を越え、様式に変更が必要な場合には、別途ご連絡ください。
・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)」により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。

(5) -① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の名称(学位)	学位又は学科の分野	設置時の計画				学生募集の停止について	備考
		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員		
獣医学部 獣医保健看護学科 学士(獣医保健看護学)	農学関係	4年	70人	2年次 0人 3年次 0人 4年次 0人	280人	—	

- (注) ・ 定員を変更した場合は、「備考」に変更前の人数、変更年月及び報告年度を()書きで記入してください。
・ 基礎となる学部等がある場合には、「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
・ 「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要(別記様式第2号(その2の1))」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。
・ 学生募集停止を予定している場合は、「学生募集の停止について」で「新規入学者を募集停止予定」を選択するとともに、「備考」に「令和〇年度から学生募集停止(予定)」と記載してください。(学生募集停止を予定していない場合は「—」を選択。)

(5) -② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		春季入学以外の学期区分について	収容定員充足率	収容定員充足率(控除後)	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期				
A 入学定員	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	70人 () []	—人 () []	—	1.11倍	—	
志願者数	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	813 [0]	— []				
受験者数	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	781 [0]	— []				
合格者数	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	116 [0]	— []				
B 入学者数	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	78 [0]	— []				
入学定員超過率 B/A	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1.11	—				

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
・ 調査対象学部等の開設年度から報告年度まで記入してください。なお、開設年度以前は「—」を記入してください。
・ ()内には、編入学の状況について外数で記入してください。なお、編入学を複数年度で行っている場合には、()書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。該当がない年度には「—」を記入してください。
・ 転入学生は記入しないでください。
・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年度には「—」を記入してください。
・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「—」を記入してください。
・ 「入学定員超過率」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した入学定員、入学者数で算出してください。
なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
・ 報告年度に春季入学以外の学期区分の設定を予定している場合は、「春季入学以外の学期区分について」で「春季入学以外の学期区分を設ける予定」を選択してください。

(春季入学以外の学期区分の設定を予定していない場合は「—」を選択。)

- ・ 「収容定員充足率」には、開設年度から報告年度までの報告年度における5月1日現在の収容定員数に対する学生数の割合を記入してください。算出に当たっては、「大学の設置等に係る提出書類の作成の手引(令和7年度開設用)IV.33収容定員の充足状況」をご確認ください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。また、完成年度を越えて報告書を提出する大学等は、報告年度から起算した修業年限に相当する期間の収容定員充足率を記載してください。
・ 「収容定員充足率(控除後)」には、「収容定員充足率」が1.00倍を超える場合、「大学、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準」第1条第2項により修業年限超過者を控除した場合及び附則第2項及び第4項を適用した場合の控除及び適用後の「収容定員充足率」を記入してください。なお、「収容定員充足率」が1.00倍以下の場合や、1.00倍を超える場合であっても上記の控除及び適用がない場合には、「—」としてください。
・ 「(5) -② 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等」の「平均入学定員超過率」及び「収容定員充足率」は、「4 既設大学等の状況」AC対象学部学科等の倍率と一致しますので、留意して計算してください。

(5) - ③ 調査対象学部等の在学者の状況

対象年度 学 年	令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1 年次	－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	78 [0] (－)	－ [－] (－)	
2 年次			－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	
3 年次					－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	
4 年次							－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	
計			－ [－] (－)	－ [－] (－)			－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	78 [0] (－)	－ [－] (－)	

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ []内には、留学生の状況について、内数で記入してください。該当がない年度には「—」を記入してください。
 - ・ ()内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年度には「—」を記入してください。
 - ・ 編入学生や転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「—」を記入してください。
また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区 分 対象年度	在学者数 (b)	退学者数 (a)	内 訳			主な退学理由 (留学生の理由は[]書き)
			入学した年度	退学者数		
				うち留学生数		
令和元年度	- 人	- 人	令和元年度	- 人	- 人	
令和2年度	- 人	- 人	令和元年度	- 人	- 人	
			令和2年度	- 人	- 人	
令和3年度	- 人	- 人	令和元年度	- 人	- 人	
			令和2年度	- 人	- 人	
			令和3年度	- 人	- 人	
令和4年度	- 人	- 人	令和元年度	- 人	- 人	
			令和2年度	- 人	- 人	
			令和3年度	- 人	- 人	
			令和4年度	- 人	- 人	
令和5年度	- 人	- 人	令和元年度	- 人	- 人	
			令和2年度	- 人	- 人	
			令和3年度	- 人	- 人	
			令和4年度	- 人	- 人	
			令和5年度	- 人	- 人	
令和6年度	78 人	0 人	令和元年度	- 人	- 人	
			令和2年度	- 人	- 人	
			令和3年度	- 人	- 人	
			令和4年度	- 人	- 人	
			令和5年度	- 人	- 人	
			令和6年度	0 人	0 人	
合 計		0 人		0 人	0 人	

- (注)・ 数字は、報告年度の5月1日現在の数字を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- 各対象年度の在学者数については、対象年度の人数を記入してください。(在学者数から退学者数を減らす必要はありません。)
 - 内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
 - 在学者数、退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。
 - 「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(○人)」というように、その人数も含めて記入してください。
(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) -⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【令和元年度】

$$\frac{\text{令和元年度の退学者数(a)}}{\text{令和元年度の在学者数(b)}} = \frac{-}{-} = \boxed{-} \%$$

【令和2年度】

$$\frac{\text{令和2年度の退学者数(a)}}{\text{令和2年度の在学者数(b)}} = \frac{-}{-} = \boxed{-} \%$$

【令和3年度】

$$\frac{\text{令和3年度の退学者数(a)}}{\text{令和3年度の在学者数(b)}} = \frac{-}{-} = \boxed{-} \%$$

【令和4年度】

$$\frac{\text{令和4年度の退学者数(a)}}{\text{令和4年度の在学者数(b)}} = \frac{-}{-} = \boxed{-} \%$$

【令和5年度】

$$\frac{\text{令和5年度の退学者数(a)}}{\text{令和5年度の在学者数(b)}} = \frac{-}{-} = \boxed{-} \%$$

【令和6年度】

$$\frac{\text{令和6年度の退学者数(a)}}{\text{令和6年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{78} = \boxed{0} \%$$

- (注)・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

2 授業科目の概要

<獣医学部 獣医保健看護学科>

(1) ー① 授業科目表

【届出時】

科目 区分	授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					兼 任 ・ 兼 担
			必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手	
基礎 教育系科目	心理学	1前		2							1
	社会学	2前		2		1					
	社会統計学	2後		2		1					
	小計(3科目)	—	0	6	0	1	0	0	0	0	1
	化学	1前	2								1
	生物学	1前	2								1
	生物学実習	1前		1							1
	ライフサイエンスの数学	1前		2							1
	コンピュータ基礎演習	1前		1							3
	地球共生論	1前		2		2	1				12
	有機化学	1後	2								1
	化学実験	1後		1							2
	小計(8科目)	—	8	5	0	2	1	0	0	0	21
	基礎科学英語	1前	2								1
	獣医看護実践英語	1後	2								1
	小計(2科目)	—	4	0	0	0	0	0	0	0	1
	キャリアデザイン基礎	1前	1			4	2	3			
	キャリアデザイン応用	3前	2								1
	キャリアデザインフィールドスタディ	1通			1	1					
	小計(3科目)	—	3	0	1	4	2	3	0	0	1
	基礎体育	1通		2							6
	小計(1科目)	—	0	2	0	0	0	0	0	0	6
専門 共通系科目	地球共生系データサイエンス演習Ⅰ	1後	1								1
	地球共生系データサイエンス演習Ⅱ	2前		1							1
	地球共生系データサイエンス演習Ⅲ	3前		1							1
	地球共生系サイエンスワーク	3通		2							1
	小計(4科目)	—	1	4	0	0	0	0	0	0	2
	動物形態機能学Ⅰ(解剖学・組織学Ⅰ)	1前	2			1					2
	動物形態機能学Ⅱ(解剖学・組織学Ⅱ)	1後	2			1					2
	動物形態機能学Ⅲ(生理学Ⅰ)	1後	2			1					1
	動物形態機能学Ⅳ(生理学Ⅱ)	2前	2			1					1
	生命倫理・動物福祉	1前	2			1					
	動物行動学	1後	2					1			
	比較動物学Ⅰ	1後	2								4
	比較動物学Ⅱ	2前	2								3
	動物栄養学Ⅰ	2前	2								1
	動物栄養学Ⅱ	2後	2					1			1
	動物愛護・適正飼養関連法規	2前	1								1
	動物看護関連法規	3前	1								1
	動物繁殖学	2後	2								7
	小計(13科目)	—	24	0	0	2	0	2	0	0	18
	動物看護学概論	1前	2			4	2	3			
基礎 動物看護学 科目	動物感染症Ⅰ(細菌・真菌)	1後	2				1				
	動物感染症Ⅱ(感染症、寄生虫学、ウイルス学(総論))	2前	2			1					2
	動物感染症Ⅲ(ウイルス学(各論)、感染症学)	2後	2								3
	動物病理学	2前	2			1					
	動物薬理学Ⅰ	2後	2			1					
	動物薬理学Ⅱ	3前	2			1					
	公衆衛生Ⅰ(総論・環境衛生)	3前	2								3
	公衆衛生Ⅱ(食品衛生)	3前	2				1				2
	小計(9科目)	—	18	0	0	4	2	3	0	0	7

【令和6年度】

科目 区分	授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					兼 任 ・ 兼 担
			必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手	
基礎 教育系科目	心理学	1前		2							1
	社会学	2前		2		1					
	社会統計学	2後		2		1					
	小計(3科目)	—	0	6	0	1	0	0	0	0	1
	化学	1前	2								1
	生物学	1前	2								1
	生物学実習	1前		1							2
	ライフサイエンスの数学	1前		2							2
	コンピュータ基礎演習	1前		1							3
	地球共生論	1前		2				1	0		12
	有機化学	1後	2								1
	化学実験	1後		1							2
	小計(8科目)	—	8	5	0	1	0	0	0	0	23
	基礎科学英語	1前	2								1
	獣医看護実践英語	1後	2								1
	小計(2科目)	—	4	0	0	0	0	0	0	0	1
	キャリアデザイン基礎	1前	1			4	2	3			
	キャリアデザイン応用	3前	2								1
	キャリアデザインフィールドスタディ	1通			1	1					
	小計(3科目)	—	3	0	1	4	2	3	0	0	1
	基礎体育	1通		2							6
	小計(1科目)	—	0	2	0	0	0	0	0	0	6
専門 共通系科目	地球共生系データサイエンス演習Ⅰ	1後	1								1
	地球共生系データサイエンス演習Ⅱ	2前		1							1
	地球共生系データサイエンス演習Ⅲ	3前		1							2
	地球共生系サイエンスワーク	3通		2							1
	小計(4科目)	—	1	4	0	0	0	0	0	0	3
	動物形態機能学Ⅰ(解剖学・組織学Ⅰ)	1前	2			1					2
	動物形態機能学Ⅱ(解剖学・組織学Ⅱ)	1後	2			1					2
	動物形態機能学Ⅲ(生理学Ⅰ)	1後	2			1					1
	動物形態機能学Ⅳ(生理学Ⅱ)	2前	2			1					1
	生命倫理・動物福祉	1前	2			1					
	動物行動学	1後	2					1			
	比較動物学Ⅰ	1後	2								4
	比較動物学Ⅱ	2前	2								3
	動物栄養学Ⅰ	2前	2								1
	動物栄養学Ⅱ	2後	2					1			1
	動物愛護・適正飼養関連法規	2前	1								1
	動物看護関連法規	3前	1								1
	動物繁殖学	2後	2								7
	小計(13科目)	—	24	0	0	2	0	2	0	0	18
	動物看護学概論	1前	2			4	2	3			
基礎 動物看護学 科目	動物感染症Ⅰ(細菌・真菌)	1後	2				1				
	動物感染症Ⅱ(感染症、寄生虫学、ウイルス学(総論))	2前	2			1					2
	動物感染症Ⅲ(ウイルス学(各論)、感染症学)	2後	2								3
	動物病理学	2前	2			1					
	動物薬理学Ⅰ	2後	2			1					
	動物薬理学Ⅱ	3前	2			1					
	公衆衛生Ⅰ(総論・環境衛生)	3前	2								3
	公衆衛生Ⅱ(食品衛生)	3前	2				1				2
	小計(9科目)	—	18	0	0	4	2	3	0	0	7

科目 区分		授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					兼 任 ・ 兼 担
				必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手	
専門共通系科目	臨床動物看護学科目	動物内科看護学Ⅰ	2前	2					3			
		動物内科看護学Ⅱ	2後	2					2			4
		動物内科看護学Ⅲ	3前	2				1	1			7
		動物外科看護学Ⅰ	2後	2				1	1			6
		動物外科看護学Ⅱ	3前	2				1	2			2
		動物臨床検査学	2前	2			1	1				3
		動物臨床看護学総論	2後	2					2			1
		動物医療コミュニケーション	3後	2								3
		動物臨床看護学各論Ⅰ	3後	2				1				6
		動物臨床看護学各論Ⅱ	3後	2								6
		動物臨床看護学各論Ⅲ	3後	2				1	3			4
		動物臨床看護学各論Ⅳ	3後	2					1			8
	小計(12科目)		—	24	0	0	1	2	3	0	0	29
	愛護・適正飼養学科目	愛玩動物学Ⅰ	1前	2								3
		愛玩動物学Ⅱ	1前	2					1			3
		人と動物の関係学	1前	2			1		1			2
		適正飼養指導論Ⅰ	2後	2			1					
		適正飼養指導論Ⅱ	2後	2			1					
		動物生活環境学	3前	2			1					
		ペット関連産業概論	3後	2			1					
		小計(7科目)		—	14	0	0	2	0	1	0	0
	実験・実習科目	動物形態機能学・臨床検査学実習Ⅰ	1後	1			1	1				2
		動物形態機能学・臨床検査学実習Ⅱ	2前	1			1	1				3
		動物愛護・適正飼養学実習	2後	2			1					
		臨床看護学実習Ⅰ	3前	1					3			5
		臨床看護学実習Ⅱ	3前	1					3			2
		臨床看護学実習Ⅲ	3前	1				1	3			5
		臨床看護学実習Ⅳ	3後	1				1	1			4
		臨床看護学実習Ⅴ	3後	1				1	1			3
		臨床看護学実習Ⅵ	3後	1				1	3			1
		動物看護総合実習	4通	4			4	2	3			3
	小計(10科目)		—	14	0	0	4	2	3	0	0	21
	探求・研究科目	専門ゼミⅠ	3通	2			4	2	3			
		専門ゼミⅡ	4前		2		4	2	3			
		卒業論文	4通		4		4	2	3			
		小計(3科目)		—	2	6	0	4	2	3	0	0
	選択科目	疫学概論	4前		2							2
		衛生行政学	4後		2							1
		総合動物看護学	4通		4		4	2	3			
		小計(3科目)		—	0	8	0	4	2	3	0	0
	合計(78科目)			—	112	31	1	4	2	3	0	0
卒業要件及び履修方法												
以下のとおり合計で124単位以上修得すること。(履修科目の登録の上限:50単位/年(1年次)、47単位/年(2年次以降)) □基礎教育系科目で、必修科目16単位を修得する。 □専門共通系科目で、必修科目96単位を修得する。 □基礎教育系科目及び専門共通系科目で、選択科目から12単位以上(ただし探求・研究科目から2単位以上)を修得する。												

科目 区分		授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					兼 任 ・ 兼 担
				必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手	
専門共通系科目	臨床動物看護学科目	動物内科看護学Ⅰ	2前	2					3			
		動物内科看護学Ⅱ	2後	2					2			4
		動物内科看護学Ⅲ	3前	2				1	1			7
		動物外科看護学Ⅰ	2後	2				1	1			6
		動物外科看護学Ⅱ	3前	2				1	2			2
		動物臨床検査学	2前	2			1	1				3
		動物臨床看護学総論	2後	2					2			1
		動物医療コミュニケーション	3後	2								3
		動物臨床看護学各論Ⅰ	3後	2				1				6
		動物臨床看護学各論Ⅱ	3後	2								6
		動物臨床看護学各論Ⅲ	3後	2				1	3			4
		動物臨床看護学各論Ⅳ	3後	2					1			8
		小計(12科目)	—	24	0	0	1	2	3	0	0	29
	愛護・適正飼養学科目	愛玩動物学Ⅰ	1前	2								5
		愛玩動物学Ⅱ	1前	2					1			3
		人と動物の関係学	1前	2			1		1			2
		適正飼養指導論Ⅰ	2後	2			1					
		適正飼養指導論Ⅱ	2後	2			1					
		動物生活環境学	3前	2			1					
		ペット関連産業概論	3後	2			1					
		小計(7科目)	—	14	0	0	2	0	1	0	0	9
	実験・実習科目	動物形態機能学・臨床検査学実習Ⅰ	1後	1			1	1				2
		動物形態機能学・臨床検査学実習Ⅱ	2前	1			1	1				3
		動物愛護・適正飼養学実習	2後	2			1					
		臨床看護学実習Ⅰ	3前	1					3			5
		臨床看護学実習Ⅱ	3前	1					3			2
		臨床看護学実習Ⅲ	3前	1				1	3			5
		臨床看護学実習Ⅳ	3後	1				1	1			4
		臨床看護学実習Ⅴ	3後	1				1	1			3
		臨床看護学実習Ⅵ	3後	1				1	3			1
		動物看護総合実習	4通	4			4	2	3			3
	小計(10科目)	—	14	0	0	4	2	3	0	0	21	
	探求・研究科目	専門ゼミⅠ	3通	2			4	2	3			
		専門ゼミⅡ	4前		2		4	2	3			
		卒業論文	4通		4		4	2	3			
		小計(3科目)	—	2	6	0	4	2	3	0	0	
	選択科目	疫学概論	4前		2							1
		衛生行政学	4後		2							1
		総合動物看護学	4通		4		4	2	3			
		小計(3科目)	—	0	8	0	4	2	3	0	0	2
	合計(78科目)			—	112	31	1	4	2	3	0	0
卒業要件及び履修方法												
以下のとおり合計で124単位以上修得すること。(履修科目の登録の上限:50単位/年(1年次)、47単位/年(2年次以降))												
□基礎教育系科目で、必修科目16単位を修得する。												
□専門共通系科目で、必修科目96単位を修得する。												
□基礎教育系科目及び専門共通系科目で、選択科目から12単位以上(ただし探求・研究科目から2単位以上)を修得する。												

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
 - ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引」の「教育課程等の概要」を確認してください。
 - ・ 「認可時又は届出時」には 設置認可時又は届出時の授業科目全て(兼任、兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記入してください。その上で、各年度については、**認可時又は届出時から変更となっている箇所は赤字**としてください。
 - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても科目名の後ろに「(未開講)」として記入してください。
 - ・ 1ページ目には認可時又は届出時と報告年度2つの表を記入してください。
 - ・ 不要な年度(令和5年度開設であれば令和4年度以前)の表は適宜削除してください。(2つの表が1ページに表示されるようにしてください。)
 - ・ 専門職大学等の場合、「実験、実習又は実技による授業科目」には「【※】」、「臨地実務実習」による授業科目には「【臨】」、「連携実務演習」による授業科目には「【連】」を授業科目の名称の右側に記入してください。
 - ・ 指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、旧カリキュラムについても記載してください。その場合は、新カリキュラムを全て記載したのち、最後に記載欄を追加し、年度ごとに記載してください。新旧がある年度については、その別がわかるように各年度の右側に(新)又は(旧)と追記してください。(例:記載順)【認可時又は届出時】→【令和6年度】(新)→【令和5年度】(新)→【令和4年度】→【令和3年度】→【令和6年度】(旧)→【令和5年度】

(1) 一②授業科目表に関する変更内容

【令和6年度】

- ・全学共通科目の内容更新に伴い、「地球共生論」の教員の配置を「教授2」から「教授1」、「准教授1」から「准教授0」に変更。
なお、担当教員は変更したが、兼任及び兼任数は同数。
- ・教育課程充実に伴い、「ライフサイエンスの数学」を「兼1」から「兼2」に変更。
- ・教育課程充実に伴い、「地球共生系データサイエンス演習Ⅲ」を「兼1」から「兼2」に変更。
- ・教育課程充実に伴い、「愛玩動物学Ⅰ」を「兼3」から「兼5」に変更。
- ・教育課程充実に伴い、「生物学実習」を「兼1」から「兼2」に変更。
- ・担当教員の職位変更による科目担当の見直しに伴い、「疫学概論」を「兼2」から「兼1」に変更。

- (注) ・ 2 (1) 一① 授業科目表に記入された各年度における変更内容（配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など）を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。
 - ・ 不要な年度（令和5年度開設であれば令和4年度以前）の表は適宜削除してください。
 - ・ 指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、新旧の変更内容をそれぞれ1つの枠内に記入してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計 (A)	必修	選択	自由	計	
61 科目	16 科目	1 科目	78 科目	— 科目 [—]	— 科目 [—]	— 科目 [—]	— 科目 [—]	

- (注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[] 内に、設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1 科目減の場合：△1)
- ・ 指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、「変更状況」には変更後のカリキュラム(新カリキュラム)の授業科目数及び設置時の計画からの増減を記入するとともに、「備考」に変更前のカリキュラム(旧カリキュラム)の授業科目数と設置時の計画からの増減を記入してください。

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由、代替措置の有無
1						該当なし
2						
3						

- (注) ・ 配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については記入しないでください。
 - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。
 - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。
 - ・ 該当がない場合は「未開講の理由、代替措置の有無」欄に「該当なし」と記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由、代替措置の有無
1						該当なし
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」として記入してください。
 - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。
 - ・ 該当がない場合は「廃止の理由、代替措置の有無」欄に「該当なし」と記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目（３）と廃止科目（４）の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計（Ａ）}} = \frac{0}{78} = \boxed{0} \%$$

- (注) ・ 小数点以下第３位を切り捨て、小数点以下第２位まで表示されます。
・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「（３）未開講科目」と「（４）廃止科目」の合計数となるように留意してください。

3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備考			
(1)校地等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	共用：麻布大学附属高等学校 (収容定員774人。法令 上の必要面積：校地 15,480㎡、校舎5,418 ㎡)			
	校 舎 敷 地	71,925㎡	0㎡	13,901㎡	85,826㎡				
	運動場用地	1,518㎡	0㎡	18,563㎡	20,081㎡				
	小 計	73,443㎡	0㎡	32,464㎡	105,907㎡				
	そ の 他	5,641㎡	0㎡	0㎡	5,641㎡				
	合 計	79,084㎡	0㎡	32,464㎡	111,548㎡				
(2) 校 舎		専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計				
		63,435㎡ (63,435㎡)	0㎡ (0㎡)	9,468㎡ (9,468㎡)	72,903㎡ (72,903㎡)				
(3) 教 室 等		講 義 室	演 習 室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設	大学全体		
		44室	22室	30室	3室 (補助職員 0人)	- 室 (補助職員 0人)			
(4) 専任教員研究室		新設学部等の名称			室 数				
		獣医学部 獣医保健看護学科			9 室				
(5)図書・設備	新設学部等の 名称	図 書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種		視聴覚資料 点	機械・器具 点	標 本 点	学部単位での特定不能な ため、大学全体の数 学術雑誌、電子ジャーナルは 予算減により購読中止したため、 減少となった。図書、視聴覚資料も 書架等が狭隘状態であるため、 除籍を計画しており、予定数値から 減少する可能性がある。(6)	
			電子ジャーナル 〔うち外国書〕						
	獣医保健看護学科	116,747 [24,339] (117,532 [24,449])	10,493 [5,448] 11,374 [6,363] (10,493 [5,448])	5,748 [4,165] 6,595 [5,082] (5,748 [4,165])	2,414 (2,450)	7,157 (7,345)	127 (127)		
計	116,747 [24,339] (117,532 [24,449])	10,493 [5,448] 11,374 [6,363] (10,493 [5,448])	5,748 [4,165] 6,595 [5,082] (5,748 [4,165])	2,414 (2,450)	7,157 (7,345)	127 (127)			
(6) 図 書 館		面 積		閱 覧 座 席 数		収 納 可 能 冊 数		大学全体	
		1,848㎡		324		159,881			
(7) 体 育 館		面 積		体育館以外のスポーツ施設の概要					
		2,788㎡		大学テニスコート 1,715㎡					
(8)経費の見積り及び 維持方法の概要	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度	届出学科全体
		教員 1 人当り研究費等	600 700千円	600 700千円	図書購入費	5,200千円	5,200千円	5,200千円	図書購入費には電子 ジャーナル、データベース、 電子ツールを含む。
		共 同 研 究 費 等	5,350千円	5,350千円	設備購入費	－ 千円	41,000千円	－ 千円	
	学生 1 人当り 納付金	第 1 年次	第 2 年次	第 3 年次	第 4 年次	第 5 年次	第 6 年次	教員研究費については、他 大学と比較して引き続き一 定水準以上の研究費を確保 するとともに、全学的な研 究環境の維持のため、配分 額の見直しを行った。 (6)	
		1,600千円	1,600千円	1,600千円	1,600千円	－ 千円	－ 千円		
	学生納付金以外の維持方法の概要		資産運用収入、雑収入						

- (注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)
- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
 - ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には報告年度の5月1日現在の数値を記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(6)」を「備考」に赤字で記入してください。
 なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
 - ・ 国立大学については「(8)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4 既設大学等の状況

大 学 の 名 称		麻布大学									収容定員充足率0.7倍以下の学科数	0	収容定員充足率1.15倍以上の学科数	2
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	収容定員充足率	収容定員充足率(控除後)	定員変更年度(AC期間の学科のみ)	開設年度	所在地	備 考			
獣医学部	年	人	年次人	人		倍	倍	年度	年度	神奈川県相模原市中央区淵野辺1-17-71	令和6年度から入学定員変更(130→120)			
獣医学科	6	120	-	720	学士(獣医学)	1.24	-	-	昭和25	同上				
獣医保健看護学科	4	70	-	70	学士(動物応用科学)	1.11	-	-	令和6	同上				
動物応用科学科	4	120	-	510	学士(獣医保健看護学)	1.13	-	-	平成6	同上				
生命・環境科学部		180	-	900	-	0.99	-	-	平成20	同上	令和6年度から入学定員変更(80→40)			
臨床検査技術学科	4	80	-	320	学士(保健衛生学)	1.25	-	-	平成20	同上				
食品生命科学科	4	40	-	280	学士(保健衛生学)	0.75	-	-	平成20	同上				
環境科学科	4	60	-	300	学士(環境科学)	0.95	-	-	平成20	同上				
大学全体	-	490	-	2,200	-	-	-	-	-	-	令和6年度から入学定員変更(80→60)			

- (注)・本調査の対象となっている大学、短期大学及び高等専門学校(以下「大学等」という。)について、既に設置している学部等(短期大学、高等専門学校にあっては学科等)の報告年度の5月1日現在の状況を記入してください。(大学院、専攻科及び別科を除く)。
 なお、本調査の対象となっている大学等の設置者が設置している他の大学等の状況については、記入する必要はありません。
 ・記載項目以外、保護をかけています。不要な行は、「非表示」設定としてください。また、記載する必要がない学校種の記載欄については、「収容定員充足率」が0.7倍以下又は1.15倍以上の学科数を記入する項目を「-」とした上で、「非表示」設定としてください。
 ・学部の学科等、「入学定員を定めている組織」ごとに全ての組織を記入してください。
 ※「入学定員を定めている組織」ごとには、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。
 履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
 ・本年度ACの対象となる学部等については、必ず下線を引いてください。
 ・「収容定員充足率」には、報告年度における5月1日現在の収容定員数に対する学生数の割合を記入してください。
 開設後、完成年度を迎えていない学科等については、開設年度から報告年度までの報告年度における5月1日現在の収容定員数に対する学生数の割合を記載してください。
 算出に当たっては、「大学の設置等に係る提出書類の作成の手引(令和7年度開設用)IV.33収容定員の充足状況」をご確認ください。
 ・「収容定員充足率(控除後)」には、「収容定員充足率」が1.00倍を超える場合、「大学、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準」第1条第2項により修業年限超過者を控除した場合及び附則第2項及び第4項を適用した場合の控除及び適用後の「収容定員充足率」を記入してください。
 なお、「収容定員充足率」が1.00倍以下の場合や、1.00倍を超える場合であっても上記の控除及び適用がない場合には、「-」としてください。
 ・「収容定員充足率(控除後含む)」は、小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
 また、0.7倍以下又は1.15倍以上の学科については、必ず太字にしてください。当該設定は、学科のみとし、学部及び専攻を太字にする必要はありません。
 ・「備考」の欄については、学年進行中の入学定員の増減や学生募集停止など、収容定員に影響のある情報を記入してください。
 ・「所在地」及び「備考」欄については、セルの結合ではなく、書式設定より設定の上、文字サイズ変更を行ってください。詳しくは、本シート右に記載のコメント機能で操作方法を案内していますのでご参照ください。

5 教員組織の状況

<獣医学部 獣医保健看護学科>

(1) -① 担当教員表

【認可時又は届出時】

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	植竹 勝治 ＜令和6年4月＞ 博士（農学）
		キャリアデザイン基礎 人と動物の関係学※ 生命倫理・動物福祉 地球共生論※ 動物看護学概論※ 適正飼養指導論Ⅰ 適正飼養指導論Ⅱ 動物愛護・適正飼養学実習 動物生活環境学 専門ゼミⅠ 専門ゼミⅡ 動物看護総合実習※ 総合動物看護学 卒業論文
専	教授	栗林 尚志 ＜令和6年4月＞ 博士（学術）
		キャリアデザイン基礎 動物看護学概論※ 動物形態機能学・臨床検査学実習Ⅱ ※ 動物臨床検査学※ 動物感染症学Ⅱ（免疫学、寄生虫 学、ウイルス学（総論））※ 動物薬理学Ⅰ 動物薬理学Ⅱ 専門ゼミⅠ 専門ゼミⅡ 動物看護総合実習※ 総合動物看護学 卒業論文
専	教授	大倉 健宏 ＜令和6年4月＞ 博士（社会学）
		キャリアデザイン基礎 地球共生論※ 動物看護学概論※ キャリアデザインフィールドスタ ディ 社会学 社会統計学 ペット関連産業概論 専門ゼミⅠ 専門ゼミⅡ 動物看護総合実習※ 総合動物看護学 卒業論文
専	教授	島津 徳人 ＜令和6年4月＞ 博士（歯学）
		キャリアデザイン基礎 動物形態機能学Ⅰ（解剖学・組織学 Ⅰ）※ 動物看護学概論※ 動物形態機能学Ⅱ（解剖学・組織学 Ⅱ）※ 動物形態機能学Ⅲ（生理学Ⅰ）※ 動物形態機能学・臨床検査学実習Ⅰ ※ 動物形態機能学Ⅳ（生理学Ⅱ）※ 動物病理学 専門ゼミⅠ 専門ゼミⅡ 動物看護総合実習※ 総合動物看護学 卒業論文

【令和6年度】

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	植竹 勝治 ＜令和6年4月＞ 博士（農学）
		キャリアデザイン基礎 人と動物の関係学※ 生命倫理・動物福祉 地球共生論※ 動物看護学概論※ 適正飼養指導論Ⅰ 適正飼養指導論Ⅱ 動物愛護・適正飼養学実習 動物生活環境学 専門ゼミⅠ 専門ゼミⅡ 動物看護総合実習※ 総合動物看護学 卒業論文
専	教授	栗林 尚志 ＜令和6年4月＞ 博士（学術）
		キャリアデザイン基礎 動物看護学概論※ 動物形態機能学・臨床検査学実 習Ⅱ※ 動物臨床検査学※ 動物感染症学Ⅱ（免疫学、寄生 虫学、ウイルス学（総論））※ 動物薬理学Ⅰ 動物薬理学Ⅱ 専門ゼミⅠ 専門ゼミⅡ 動物看護総合実習※ 総合動物看護学 卒業論文
専	教授	大倉 健宏 ＜令和6年4月＞ 博士（社会学）
		キャリアデザイン基礎 地球共生論※ 動物看護学概論※ キャリアデザインフィールドスタ ディ 社会学 社会統計学 ペット関連産業概論 専門ゼミⅠ 専門ゼミⅡ 動物看護総合実習※ 総合動物看護学 卒業論文
専	教授	島津 徳人 ＜令和6年4月＞ 博士（歯学）
		キャリアデザイン基礎 動物形態機能学Ⅰ（解剖学・組 織学Ⅰ）※ 動物看護学概論※ 動物形態機能学Ⅱ（解剖学・組 織学Ⅱ）※ 動物形態機能学Ⅲ（生理学Ⅰ） ※ 動物形態機能学・臨床検査学実 習Ⅰ※ 動物形態機能学Ⅳ（生理学Ⅱ） ※ 動物病理学 専門ゼミⅠ 専門ゼミⅡ 動物看護総合実習※ 総合動物看護学

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	大仲 賢二 ＜令和6年4月＞ 博士（学術） キャリアデザイン基礎 地球共生論※ 動物看護学概論※ 動物形態機能学・臨床検査学実習Ⅰ※ 動物感染症学Ⅰ（細菌・真菌）※ 動物臨床検査学※ 動物形態機能学・臨床検査学実習Ⅱ※ 公衆衛生学Ⅱ（食品衛生）※ 専門ゼミⅠ 専門ゼミⅡ 動物看護総合実習※ 総合動物看護学 卒業論文
		今井（田端）彩子 ＜令和6年4月＞ 博士（医学） キャリアデザイン基礎 動物看護学概論※ 動物外科看護学Ⅰ※ 動物内科看護学Ⅲ※ 動物外科看護学Ⅱ※ 臨床看護学実習Ⅲ※ 動物臨床看護学各論Ⅰ※ 動物臨床看護学各論Ⅲ※ 臨床看護学実習Ⅳ※ 臨床看護学実習Ⅴ※ 臨床看護学実習Ⅵ※ 専門ゼミⅠ 専門ゼミⅡ 動物看護総合実習※ 総合動物看護学 卒業論文
専	講師	一戸 登夢 ＜令和6年4月＞ 博士（獣医学） キャリアデザイン基礎 動物看護学概論※ 動物内科看護学Ⅰ※ 動物内科看護学Ⅱ※ 動物内科看護学Ⅲ※ 動物外科看護学Ⅰ※ 動物外科看護学Ⅱ※ 動物臨床看護学各論Ⅲ※ 臨床看護学実習Ⅰ※ 臨床看護学実習Ⅱ※ 臨床看護学実習Ⅲ※ 臨床看護学実習Ⅳ※ 臨床看護学実習Ⅴ※ 臨床看護学実習Ⅵ※ 専門ゼミⅠ 専門ゼミⅡ 動物看護総合実習※ 総合動物看護学 卒業論文
		久世 明香 ＜令和6年4月＞ 博士（獣医学） キャリアデザイン基礎 人と動物の関係学※ 動物看護学概論※ 愛玩動物学Ⅱ※ 動物行動学 動物内科看護学Ⅰ※ 動物臨床看護学総論※ 臨床看護学実習Ⅰ※ 臨床看護学実習Ⅱ※ 臨床看護学実習Ⅲ※ 臨床看護学実習Ⅵ※ 動物臨床看護学各論Ⅳ※ 動物臨床看護学各論Ⅲ※ 専門ゼミⅠ 専門ゼミⅡ 動物看護総合実習※ 総合動物看護学 卒業論文

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	大仲 賢二 ＜令和6年4月＞ 博士（学術） キャリアデザイン基礎 地球共生論※ 動物看護学概論※ 動物形態機能学・臨床検査学実習Ⅰ※ 動物感染症学Ⅰ（細菌・真菌）※ 動物臨床検査学※ 動物形態機能学・臨床検査学実習Ⅱ※ 公衆衛生学Ⅱ（食品衛生）※ 専門ゼミⅠ 専門ゼミⅡ 動物看護総合実習※ 総合動物看護学 卒業論文
		今井（田端）彩子 ＜令和6年4月＞ 博士（医学） キャリアデザイン基礎 動物看護学概論※ 動物外科看護学Ⅰ※ 動物内科看護学Ⅲ※ 動物外科看護学Ⅱ※ 臨床看護学実習Ⅲ※ 動物臨床看護学各論Ⅰ※ 動物臨床看護学各論Ⅲ※ 臨床看護学実習Ⅳ※ 臨床看護学実習Ⅴ※ 臨床看護学実習Ⅵ※ 専門ゼミⅠ 専門ゼミⅡ 動物看護総合実習※ 総合動物看護学 卒業論文
専	講師	一戸 登夢 ＜令和6年4月＞ 博士（獣医学） キャリアデザイン基礎 動物看護学概論※ 動物内科看護学Ⅰ※ 動物内科看護学Ⅱ※ 動物内科看護学Ⅲ※ 動物外科看護学Ⅰ※ 動物外科看護学Ⅱ※ 動物臨床看護学各論Ⅲ※ 臨床看護学実習Ⅰ※ 臨床看護学実習Ⅱ※ 臨床看護学実習Ⅲ※ 臨床看護学実習Ⅳ※ 臨床看護学実習Ⅴ※ 臨床看護学実習Ⅵ※ 専門ゼミⅠ 専門ゼミⅡ 動物看護総合実習※ 総合動物看護学 卒業論文
		久世 明香 ＜令和6年4月＞ 博士（獣医学） キャリアデザイン基礎 人と動物の関係学※ 動物看護学概論※ 愛玩動物学Ⅱ※ 動物行動学 動物内科看護学Ⅰ※ 動物臨床看護学総論※ 臨床看護学実習Ⅰ※ 臨床看護学実習Ⅱ※ 臨床看護学実習Ⅲ※ 臨床看護学実習Ⅵ※ 動物臨床看護学各論Ⅳ※ 動物臨床看護学各論Ⅲ※ 専門ゼミⅠ 専門ゼミⅡ 動物看護総合実習※ 総合動物看護学 卒業論文

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	講師	小野沢 栄里 ＜令和6年4月＞ 博士（獣医保健看護学） キャリアデザイン基礎 動物看護学概論※ 動物内科看護学Ⅰ※ 動物栄養学Ⅱ※ 動物臨床看護学総論※ 動物内科看護学Ⅱ※ 動物外科看護学Ⅱ※ 臨床看護学実習Ⅰ※ 臨床看護学実習Ⅱ※ 臨床看護学実習Ⅲ※ 臨床看護学実習Ⅵ※ 動物臨床看護学各論Ⅲ※ 専門ゼミⅠ 専門ゼミⅡ 動物看護総合実習※ 総合動物看護学 卒業論文
兼任	教授	佐原 弘益 ＜令和6年4月＞ 博士（医学） 生物学 生物学実習
兼任	講師	佐原 弘益 ＜令和8年4月＞ 博士（医学） 生物学 生物学実習
兼任	教授	石井 康夫 ＜令和6年4月＞ 修士（文学） 基礎科学英語 獣医看護実践英語
兼任	教授	茂木 一孝 ＜令和6年4月＞ 博士（獣医学） 愛玩動物学Ⅰ※ 愛玩動物学Ⅱ※
兼任	教授	川上 泰 ＜令和6年4月＞ 博士（医学） 地球共生論※
兼任	教授	菊水 健史 ＜令和6年4月＞ 博士（獣医学） 人と動物の関係学※ 地球共生論※ 地球共生系サイエンスワー ク

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	講師	小野沢 栄里 ＜令和6年4月＞ 博士（獣医保健看護学） キャリアデザイン基礎 動物看護学概論※ 動物内科看護学Ⅰ※ 動物栄養学Ⅱ※ 動物臨床看護学総論※ 動物内科看護学Ⅱ※ 動物外科看護学Ⅱ※ 臨床看護学実習Ⅰ※ 臨床看護学実習Ⅱ※ 臨床看護学実習Ⅲ※ 臨床看護学実習Ⅵ※ 動物臨床看護学各論Ⅲ※ 専門ゼミⅠ 専門ゼミⅡ 動物看護総合実習※ 総合動物看護学 卒業論文
兼任	講師	西本 裕樹 ＜令和6年4月＞ 博士（薬学） 生物学 生物学実習
兼任	教授	石井 康夫 ＜令和6年4月＞ 修士（文学） 基礎科学英語 獣医看護実践英語
兼任	教授	茂木 一孝 ＜令和6年4月＞ 博士（獣医学） 愛玩動物学Ⅰ※ 愛玩動物学Ⅱ※
兼任	教授	川上 泰 ＜令和6年4月＞ 博士（医学） 地球共生論※
兼任	教授	菊水 健史 ＜令和6年4月＞ 博士（獣医学） 人と動物の関係学※ 地球共生論※ 地球共生系サイエンスワー ク

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	石原 淳子 ＜令和6年4月＞ 博士（医学） 地球共生論※ 疫学概論※
兼任	教授	田原口 智士 ＜令和6年4月＞ 博士（獣医学） 地球共生論※ 動物感染症Ⅱ（免疫学、寄生虫学、ウイルス学（総論））※ 動物感染症Ⅲ（ウイルス学（各論）、感染症学）※
兼任	教授	伊藤 潤哉 ＜令和6年4月＞ 博士（農学） 地球共生論※ 動物繁殖学※
兼任	教授	落合 秀治 ＜令和6年4月＞ 博士（獣医学） 地球共生論※
兼任	教授	江口 祐輔 ＜令和6年4月＞ 博士（学術） 地球共生論※
兼任	教授	中村 紳一朗 ＜令和6年4月＞ 博士（獣医学） 比較動物学Ⅰ※

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	田原口 智士 ＜令和7年4月＞ 博士（獣医学） 地球共生論※ 動物感染症Ⅱ（免疫学、寄生虫学、ウイルス学（総論））※ 動物感染症Ⅲ（ウイルス学（各論）、感染症学）※
兼任	教授	伊藤 潤哉 ＜令和6年4月＞ 博士（農学） 地球共生論※ 動物繁殖学※
兼任	教授	森田 幸雄 ＜令和6年4月＞ 博士（獣医学） 地球共生論※
兼任	教授	落合 秀治 ＜令和6年4月＞ 博士（獣医学） 地球共生論※
兼任	教授	澤野 祥子 ＜令和6年4月＞ 博士（農学） 地球共生論※
兼任	教授	新倉 保 ＜令和6年4月＞ 博士（保健学） 地球共生論※
兼任	教授	中村 紳一朗 ＜令和6年4月＞ 博士（獣医学） 比較動物学Ⅰ※

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	塚田 英晴 ＜令和7年4月＞ 博士（行動科学） 比較動物学Ⅱ※ 動物臨床看護学各論Ⅳ※
兼任	教授	平 健介 ＜令和7年4月＞ 博士（獣医学） 動物感染症学Ⅱ（免疫学、寄生虫学、ウイルス学（総論））※ 動物臨床検査学※ 動物形態機能学・臨床検査学実習Ⅱ※ 公衆衛生学Ⅰ（総論・環境衛生）※ 公衆衛生学Ⅱ（食品衛生）※ 動物臨床看護学各論Ⅰ※
兼任	教授	長井 誠 ＜令和7年4月＞ 博士（獣医学） 動物感染症学Ⅲ（ウイルス学（各論）、感染症学）※
兼任	准教授	村上 裕信 ＜令和9年4月＞ 博士（獣医学） 動物感染症学Ⅲ（ウイルス学（各論）、感染症学）※
兼任	教授	山田 一孝 ＜令和7年4月＞ 博士（獣医学） 動物内科看護学Ⅱ※ 臨床看護学実習Ⅰ※ 臨床看護学実習Ⅲ※ 動物臨床看護学各論Ⅳ※ 動物看護総合実習※
兼任	教授	高木 哲 ＜令和7年4月＞ 博士（獣医学） 動物外科看護学Ⅰ※ 動物臨床看護学各論Ⅱ※
兼任	教授	吉岡 耕治 ＜令和8年4月＞ 博士（獣医学） 動物繁殖学※ 臨床看護学実習Ⅰ※
兼任	教授	恩田 賢 ＜令和8年4月＞ 博士（獣医学） 動物内科看護学Ⅲ※ 臨床看護学実習Ⅰ※ 臨床看護学実習Ⅳ※
兼任	教授	藤井 洋子 ＜令和8年4月＞ 博士（獣医学） 動物外科看護学Ⅱ※ 臨床看護学実習Ⅴ※

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	塚田 英晴 ＜令和7年4月＞ 博士（行動科学） 比較動物学Ⅱ※ 動物臨床看護学各論Ⅳ※
兼任	教授	平 健介 ＜令和7年4月＞ 博士（獣医学） 動物感染症学Ⅱ（免疫学、寄生虫学、ウイルス学（総論））※ 動物臨床検査学※ 動物形態機能学・臨床検査学実習Ⅱ※ 公衆衛生学Ⅰ（総論・環境衛生）※ 公衆衛生学Ⅱ（食品衛生）※ 公衆衛生学Ⅱ（食品衛生）※ 動物臨床看護学各論Ⅰ※
兼任	教授	長井 誠 ＜令和7年4月＞ 博士（獣医学） 動物感染症学Ⅲ（ウイルス学（各論）、感染症学）※
兼任	准教授	村上 裕信 ＜令和9年4月＞ 博士（獣医学） 動物感染症学Ⅲ（ウイルス学（各論）、感染症学）※
兼任	教授	山田 一孝 ＜令和7年4月＞ 博士（獣医学） 動物内科看護学Ⅱ※ 臨床看護学実習Ⅰ※ 臨床看護学実習Ⅲ※ 動物臨床看護学各論Ⅳ※ 動物看護総合実習※
兼任	教授	高木 哲 ＜令和7年4月＞ 博士（獣医学） 動物外科看護学Ⅰ※ 動物臨床看護学各論Ⅱ※
兼任	教授	吉岡 耕治 ＜令和8年4月＞ 博士（獣医学） 動物繁殖学※ 臨床看護学実習Ⅰ※
兼任	教授	恩田 賢 ＜令和8年4月＞ 博士（獣医学） 動物内科看護学Ⅲ※ 臨床看護学実習Ⅰ※ 臨床看護学実習Ⅳ※
兼任	教授	藤井 洋子 ＜令和8年4月＞ 博士（獣医学） 動物外科看護学Ⅱ※ 臨床看護学実習Ⅴ※

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	准教授	中野 和彦 ＜令和6年4月＞ 博士（工学）
		化学
兼任	准教授	市原 伸恒 ＜令和6年4月＞ 博士（獣医学）
		動物形態機能学Ⅰ（解剖学・組織学Ⅰ）※ 動物形態機能学・臨床検査学実習Ⅰ※ 動物形態機能学Ⅱ（解剖学・組織学Ⅱ）※
兼任	准教授	戸張 靖子 ＜令和6年4月＞ 博士（理学）
		愛玩動物学Ⅱ※ 動物繁殖学※
兼任	准教授	永澤 美保 ＜令和6年4月＞ 博士（学術）
		人と動物の関係学※
兼任	教授	関本 征史 ＜令和6年4月＞ 博士（薬学）
		地球共生論※
兼任	准教授	松井 清彦 ＜令和6年4月＞ 博士（医学）
		地球共生論※
兼任	准教授	村山 史世 ＜令和6年4月＞ 修士（法学）
		地球共生論※
兼任	教授	福井 智紀 ＜令和6年4月＞ 博士（教育学）
		地球共生論※
兼任	准教授	紙透 伸治 ＜令和6年4月＞ 博士（理学）
		化学実験

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	准教授	中野 和彦 ＜令和6年4月＞ 博士（工学）
		化学
兼任	准教授	市原 伸恒 ＜令和6年4月＞ 博士（獣医学）
		動物形態機能学Ⅰ（解剖学・組織学Ⅰ）※ 動物形態機能学・臨床検査学実習Ⅰ※ 動物形態機能学Ⅱ（解剖学・組織学Ⅱ）※
兼任	准教授	戸張 靖子 ＜令和6年4月＞ 博士（理学）
		愛玩動物学Ⅱ※ 動物繁殖学※
兼任	准教授	永澤 美保 ＜令和6年4月＞ 博士（学術）
		人と動物の関係学※
兼任	准教授	村山 史世 ＜令和6年4月＞ 修士（法学）
		地球共生論※
兼任	教授	福井 智紀 ＜令和6年4月＞ 博士（教育学）
		地球共生論※
兼任	准教授	紙透 伸治 ＜令和6年4月＞ 博士（理学）
		化学実験

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	准教授	西脇 洋一 ＜令和6年4月＞ 博士（理学）
		地球共生系データサイエンス演習Ⅰ 地球共生系データサイエンス演習Ⅱ 地球共生系データサイエンス演習Ⅲ※
兼任	教授	田中 和明 ＜令和6年4月＞ 博士（農学）
		比較動物学Ⅰ※ 比較動物学Ⅱ※
兼任	准教授	塚本 篤士 ＜令和6年4月＞ 博士（獣医学）
		比較動物学Ⅰ※
兼任	准教授	鈴木 武人 ＜令和7年4月＞ 博士（学術）
		動物栄養学Ⅰ 動物栄養学Ⅱ※ 臨床看護学実習Ⅲ※
兼任	教授	久末 正晴 ＜令和7年4月＞ 博士（獣医学）
		動物臨床検査学※ 動物形態機能学・臨床検査学実習Ⅱ※ 動物内科看護学Ⅱ※ 動物臨床看護学各論Ⅰ※ 動物臨床看護学各論Ⅱ※ 臨床看護学実習Ⅵ※ 動物医療コミュニケーション※
兼任	准教授	青木 卓磨 ＜令和7年4月＞ 博士（獣医学）
		動物外科看護学Ⅰ※ 動物臨床看護学各論Ⅰ※ 臨床看護学実習Ⅳ※
兼任	准教授	野口 倫子 ＜令和8年4月＞ 博士（獣医学）
		動物繁殖学※ 臨床看護学実習Ⅰ※
兼任	准教授	吉岡 亘 ＜令和8年4月＞ 博士（理学）
		公衆衛生学Ⅰ（総論・環境衛生）※
兼任	准教授	齋藤 弥代子 ＜令和8年4月＞ 博士（獣医学）
		動物内科看護学Ⅲ※ 動物臨床看護学各論Ⅲ※

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	准教授	西脇 洋一 ＜令和6年4月＞ 博士（理学）
		ライフサイエンスの数学※ 地球共生系データサイエンス演習Ⅰ 地球共生系データサイエンス演習Ⅱ 地球共生系データサイエンス演習Ⅲ※
兼任	教授	田中 和明 ＜令和6年4月＞ 博士（農学）
		比較動物学Ⅰ※ 比較動物学Ⅱ※
兼任	准教授	塚本 篤士 ＜令和6年4月＞ 博士（獣医学）
		比較動物学Ⅰ※
兼任	准教授	鈴木 武人 ＜令和7年4月＞ 博士（学術）
		動物栄養学Ⅰ 動物栄養学Ⅱ※ 臨床看護学実習Ⅲ※
兼任	教授	久末 正晴 ＜令和7年4月＞ 博士（獣医学）
		動物臨床検査学※ 動物形態機能学・臨床検査学実習Ⅱ※ 動物内科看護学Ⅱ※ 動物臨床看護学各論Ⅰ※ 動物臨床看護学各論Ⅱ※ 臨床看護学実習Ⅵ※ 動物医療コミュニケーション※
兼任	准教授	青木 卓磨 ＜令和7年4月＞ 博士（獣医学）
		動物外科看護学Ⅰ※ 動物臨床看護学各論Ⅰ※ 臨床看護学実習Ⅳ※
兼任	准教授	野口 倫子 ＜令和8年4月＞ 博士（獣医学）
		動物繁殖学※ 臨床看護学実習Ⅰ※
兼任	准教授	吉岡 亘 ＜令和8年4月＞ 博士（理学）
		公衆衛生学Ⅰ（総論・環境衛生）※
兼任	准教授	齋藤 弥代子 ＜令和8年4月＞ 博士（獣医学）
		動物内科看護学Ⅲ※ 動物臨床看護学各論Ⅲ※

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	准教授	藤田 幸弘 ＜令和8年4月＞ 博士（獣医学） 臨床看護学実習Ⅴ※
兼任	准教授	圓尾 拓也 ＜令和8年4月＞ 博士（獣医学） 動物臨床看護学各論Ⅲ※
兼任	准教授	廣田 祐士 ＜令和6年4月＞ 博士（理学） ライフサイエンスの数学
兼任	講師	三澤 宣雄 ＜令和6年4月＞ 博士（理学） コンピュータ基礎演習
兼任	講師	大石 元治 ＜令和6年4月＞ 博士（獣医学） 動物形態機能学Ⅰ（解剖学・組織学Ⅰ）※ 動物形態機能学Ⅱ（解剖学・組織学Ⅱ）※ 動物形態機能学・臨床検査学実習Ⅰ※
兼任	講師	松井 久実 ＜令和6年4月＞ 博士（理学） 愛玩動物学Ⅱ※ 地球共生論※ 動物形態機能学Ⅲ（生理学Ⅰ）※ 動物形態機能学Ⅳ（生理学Ⅱ）※
兼任	講師	加瀬 ちひろ ＜令和7年4月＞ 博士（学術） 比較動物学Ⅱ※

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	准教授	藤田 幸弘 ＜令和8年4月＞ 博士（獣医学） 臨床看護学実習Ⅴ※
兼任	准教授	圓尾 拓也 ＜令和8年4月＞ 博士（獣医学） 動物臨床看護学各論Ⅲ※
兼任	准教授	廣田 祐士 ＜令和6年4月＞ 博士（理学） ライフサイエンスの数学
兼任	准教授	三澤 宣雄 ＜令和6年4月＞ 博士（理学） コンピュータ基礎演習
兼任	准教授	竹田 志郎 ＜令和6年4月＞ 博士（農学） 地球共生論※
兼任	准教授	山本 誓士 ＜令和6年4月＞ 博士（理学） 地球共生系データサイエンス演習Ⅲ※
兼任	講師	大石 元治 ＜令和6年4月＞ 博士（獣医学） 動物形態機能学Ⅰ（解剖学・組織学Ⅰ）※ 動物形態機能学Ⅱ（解剖学・組織学Ⅱ）※ 動物形態機能学・臨床検査学実習Ⅰ※
兼任	講師	松井 久実 ＜令和6年4月＞ 博士（理学） 愛玩動物学Ⅱ※ 地球共生論※ 動物形態機能学Ⅲ（生理学Ⅰ）※ 動物形態機能学Ⅳ（生理学Ⅱ）※
兼任	講師	加瀬 ちひろ ＜令和7年4月＞ 博士（学術） 比較動物学Ⅱ※

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	根尾 櫻子 ＜令和7年4月＞ 博士（獣医学）
		動物臨床検査学※ 動物形態機能学・臨床検査学実 習Ⅱ※ 臨床看護学実習Ⅱ※ 動物看護総合実習※
兼任	講師	五十嵐 寛高 ＜令和7年4月＞ 博士（獣医学）
		動物内科看護学Ⅱ※ 動物繁殖学※ 動物外科看護学Ⅱ※ 動物臨床看護学各論Ⅱ※
兼任	講師	茅沼 秀樹 ＜令和7年4月＞ 博士（獣医学）
		動物外科看護学Ⅰ※ 動物内科看護学Ⅱ※ 臨床看護学実習Ⅲ※
兼任	講師	金井 詠一 ＜令和7年4月＞ 博士（獣医学）
		動物外科看護学Ⅰ※ 動物繁殖学※ 臨床看護学実習Ⅳ※ 動物臨床看護学各論Ⅰ※ 動物臨床看護学各論Ⅱ※ 動物臨床看護学各論Ⅲ※
兼任	講師	寺川 純平 ＜令和8年4月＞ 博士（獣医学）
		動物繁殖学※
兼任	講師	杉田 和俊 ＜令和8年4月＞ 博士（農学）
		公衆衛生学Ⅰ（総論・環境衛 生）※
兼任	講師	岡谷友三アレシャンドレ ＜令和8年4月＞ 博士（獣医学）
		公衆衛生学Ⅱ（食品衛生）※
兼任	講師	新井 佐知子 ＜令和8年4月＞ 博士（農学）
		動物内科看護学Ⅲ※

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	根尾 櫻子 ＜令和7年4月＞ 博士（獣医学）
		動物臨床検査学※ 動物形態機能学・臨床検査 学実習Ⅱ※ 臨床看護学実習Ⅱ※ 動物看護総合実習※
兼任	准教授	五十嵐 寛高 ＜令和7年4月＞ 博士（獣医学）
		動物内科看護学Ⅱ※ 動物繁殖学※ 動物外科看護学Ⅱ※ 動物臨床看護学各論Ⅱ※
兼任	講師	茅沼 秀樹 ＜令和7年4月＞ 博士（獣医学）
		動物外科看護学Ⅰ※ 動物内科看護学Ⅱ※ 臨床看護学実習Ⅲ※
兼任	講師	金井 詠一 ＜令和7年4月＞ 博士（獣医学）
		動物外科看護学Ⅰ※ 動物繁殖学※ 臨床看護学実習Ⅳ※ 動物臨床看護学各論Ⅰ※ 動物臨床看護学各論Ⅱ※ 動物臨床看護学各論Ⅲ※
兼任	講師	寺川 純平 ＜令和8年4月＞ 博士（獣医学）
		動物繁殖学※
兼任	講師	杉田 和俊 ＜令和8年4月＞ 博士（ 理学 ）
		公衆衛生学Ⅰ（総論・環境 衛生）※
兼任	講師	岡谷友三アレシャンドレ ＜令和8年4月＞ 博士（獣医学）
		公衆衛生学Ⅱ（食品衛生） ※
兼任	講師	新井 佐知子 ＜令和8年4月＞ 博士（農学）
		動物内科看護学Ⅲ※
兼任	講師	リンチジョナサン ＜令和6年4月＞ 修士（文学）
		地球共生論※

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	助教	風間 啓 ＜令和6年4月＞ 学士（獣医学） 比較動物学Ⅰ※ 臨床看護学実習Ⅰ※ 臨床看護学実習Ⅳ※
兼任	助教	伊藤 哲郎 ＜令和7年4月＞ 学士（獣医学） 動物外科看護学Ⅰ※ 動物臨床看護学各論Ⅱ※ 臨床看護学実習Ⅴ※
兼任	助教	高橋 広樹 ＜令和7年4月＞ 博士（獣医学） 動物外科看護学Ⅰ※ 臨床看護学実習Ⅲ※ 動物内科看護学Ⅲ※ 動物臨床看護学各論Ⅱ※
兼任	講師	小手森 綾香 ＜令和9年4月＞ 博士（食品栄養学） 疫学概論※
兼任	講師	小野 洋平 ＜令和6年4月＞ 博士（心理学） 心理学
兼任	講師	酒井 佐直 ＜令和6年4月＞ 修士（理学） コンピュータ基礎演習
兼任	講師	松井 有紀子 ＜令和6年4月＞ 修士（工学） コンピュータ基礎演習
兼任	講師	高柳 友子 ＜令和6年4月＞ 博士（医学） 愛玩動物学Ⅰ※

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	助教	風間 啓 ＜令和6年4月＞ 学士（獣医学） 比較動物学Ⅰ※ 臨床看護学実習Ⅰ※ 臨床看護学実習Ⅳ※
兼任	助教	伊藤 哲郎 ＜令和7年4月＞ 学士（獣医学） 動物外科看護学Ⅰ※ 動物臨床看護学各論Ⅱ※ 臨床看護学実習Ⅴ※
兼任	助教	高橋 広樹 ＜令和7年4月＞ 博士（ 医学 ） 動物外科看護学Ⅰ※ 臨床看護学実習Ⅲ※ 動物内科看護学Ⅲ※ 動物臨床看護学各論Ⅱ※
兼任	助教	新田 梢 ＜令和6年4月＞ 博士（理学） 地球共生論※
兼任	講師	小手森 綾香 ＜令和9年4月＞ 博士（食品栄養学） 疫学概論※
兼任	講師	小野 洋平 ＜令和6年4月＞ 博士（心理学） 心理学
兼任	講師	酒井 佐直 ＜令和6年4月＞ 修士（理学） コンピュータ基礎演習
兼任	講師	松井 有紀子 ＜令和6年4月＞ 修士（工学） コンピュータ基礎演習
兼任	講師	高柳 友子 ＜令和6年4月＞ 博士（医学） 愛玩動物学Ⅰ※

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	水越 みゆき ＜令和6年4月＞ 専門学校卒 愛玩動物学Ⅰ※
兼任	講師	加古川伊武紀 ＜令和6年4月＞ 修士（理学） 化学実験
兼任	講師	良永 裕子 ＜令和6年4月＞ 農学博士 有機化学
兼任	講師	野口 泰子 ＜令和6年4月＞ 学士（体育学） 基礎体育
兼任	講師	千葉 元樹 ＜令和6年4月＞ 学士（体育学） 基礎体育
兼任	講師	廣川 充志 ＜令和6年4月＞ 修士（体育学） 基礎体育
兼任	講師	竹内 彩映 ＜令和6年4月＞ 学士（スポーツ健康学） 基礎体育

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	水越 みゆき ＜令和6年4月＞ 専門学校卒 愛玩動物学Ⅰ※
兼任	講師	村田 夏子 ＜令和6年4月＞ 博士（農学） 愛玩動物学Ⅰ※
兼任	講師	奥澤 優花 ＜令和6年4月＞ 高等学校卒 愛玩動物学Ⅰ※
兼任	講師	加古川伊武紀 ＜令和6年4月＞ 修士（理学） 化学実験
兼任	講師	良永 裕子 ＜令和6年4月＞ 農学博士 有機化学
兼任	講師	大貫 敦嗣 ＜令和6年4月＞ 博士（農学） 生物学実習
兼任	講師	野口 泰子 ＜令和6年4月＞ 学士（体育学） 基礎体育
兼任	講師	千葉 元樹 ＜令和6年4月＞ 学士（体育学） 基礎体育
兼任	講師	廣川 充志 ＜令和6年4月＞ 修士（体育学） 基礎体育
兼任	講師	竹内 彩映 ＜令和6年4月＞ 学士（スポーツ健康学） 基礎体育

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	壹岐 守久 ＜令和6年4月＞ 学士（農学）
		基礎体育
兼任	講師	山本 勉 ＜令和6年4月＞ 学士（体育学）
		基礎体育
兼任	講師	牧野 ゆき ＜令和7年4月＞ 博士（獣医学）・修士（法学）
		動物愛護・適正飼養関連法規 動物看護関連法規
兼任	講師	弓削田 直子 ＜令和7年4月＞ 博士（獣医学）
		動物臨床看護学総論※
兼任	講師	青樹 宏一 ＜令和8年4月＞ 修士（経営管理学）
		キャリアデザイン応用
兼任	講師	柴田 久美子 ＜令和8年4月＞ 学士（獣医学）
		動物内科看護学Ⅲ※ 臨床看護学実習Ⅱ※ 動物臨床看護学各論Ⅲ※
兼任	講師	外平 友佳理 ＜令和8年4月＞ 博士（獣医学）
		動物内科看護学Ⅲ※ 動物臨床看護学各論Ⅳ※
兼任	講師	椿 直哉 ＜令和8年4月＞ 学士（獣医学）・修士（経営学）
		動物内科看護学Ⅲ※ 臨床看護学実習Ⅲ※ 動物臨床看護学各論Ⅰ※ 動物臨床看護学各論Ⅳ※
兼任	講師	友野 悠 ＜令和8年4月＞ 修士（動物応用科学）
		動物医療コミュニケーション※ 動物看護総合実習※
兼任	講師	井上 舞 ＜令和8年4月＞ 医療管理学修士（MMA）・博士（農学）
		動物医療コミュニケーション※

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	壹岐 守久 ＜令和6年4月＞ 学士（農学）
		基礎体育
兼任	講師	山本 勉 ＜令和6年4月＞ 学士（体育学）
		基礎体育
兼任	講師	牧野 ゆき ＜令和7年4月＞ 博士（獣医学）・修士（法学）
		動物愛護・適正飼養関連法規 動物看護関連法規
兼任	講師	弓削田 直子 ＜令和7年4月＞ 博士（獣医学）
		動物臨床看護学総論※
兼任	講師	青樹 宏一 ＜令和8年4月＞ 修士（経営管理学）
		キャリアデザイン応用
兼任	講師	柴田 久美子 ＜令和8年4月＞ 学士（獣医学）
		動物内科看護学Ⅲ※ 臨床看護学実習Ⅱ※ 動物臨床看護学各論Ⅲ※
兼任	講師	外平 友佳理 ＜令和8年4月＞ 博士（獣医学）
		動物内科看護学Ⅲ※ 動物臨床看護学各論Ⅳ※
兼任	講師	椿 直哉 ＜令和8年4月＞ 学士（獣医学）・修士（経営学）
		動物内科看護学Ⅲ※ 臨床看護学実習Ⅲ※ 動物臨床看護学各論Ⅰ※ 動物臨床看護学各論Ⅳ※
兼任	講師	友野 悠 ＜令和8年4月＞ 修士（動物応用科学）
		動物医療コミュニケーション※ 動物看護総合実習※
兼任	講師	井上 舞 ＜令和8年4月＞ 医療管理学修士（MMA）・博士（農学）
		動物医療コミュニケーション※

専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名
兼任	講師	高橋 香 ＜令和8年4月＞ 学士（獣医学） 動物臨床看護学各論Ⅰ※	兼任	講師	高橋 香 ＜令和8年4月＞ 学士（獣医学） 動物臨床看護学各論Ⅰ※
兼任	講師	村田 香織 ＜令和8年4月＞ 博士（獣医学） 動物臨床看護学各論Ⅳ※	兼任	講師	村田 香織 ＜令和8年4月＞ 博士（獣医学） 動物臨床看護学各論Ⅳ※
兼任	講師	大塚 美加 ＜令和8年4月＞ 学士（獣医学） 動物臨床看護学各論Ⅳ※	兼任	講師	大塚 美加 ＜令和8年4月＞ 学士（獣医学） 動物臨床看護学各論Ⅳ※
兼任	講師	三輪 恭嗣 ＜令和8年4月＞ 学士（獣医学） 動物臨床看護学各論Ⅳ※	兼任	講師	三輪 恭嗣 ＜令和8年4月＞ 学士（獣医学） 動物臨床看護学各論Ⅳ※
兼任	講師	服部 幸 ＜令和8年4月＞ 学士（獣医学） 動物臨床看護学各論Ⅳ※	兼任	講師	服部 幸 ＜令和8年4月＞ 学士（獣医学） 動物臨床看護学各論Ⅳ※
兼任	講師	野田 衛 ＜令和9年4月＞ 博士（医学） 衛生行政学	兼任	講師	野田 衛 ＜令和9年4月＞ 博士（医学） 衛生行政学

- （注）・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。（過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。）
- ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第3号（その2の1）に準じて作成してください。
 - ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引」の「教員名簿」を確認してください。
 - ・ 「認可時又は届出時」には設置認可時又は届出時の教員全て（兼任、兼任教員を含む。）を黒字で記入してください。
- その上で、各年度については、認可時又は届出時から変更となっている箇所は赤字の赤字としてください。
- ・ 年齢は、それぞれの年度の5月1日時点の満年齢を記入してください。
 - ・ 専任（専門職大学等は専、実専、実（研）、実（実））、兼任、兼任の順に記入してください。
 - ・ 不要な年度（令和5年度開設であれば令和4年度以前）の表は適宜削除してください。
 - ・ 指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、「担当授業科目名」の上位に変更後のカリキュラム（新カリキュラム）の授業科目名を記入するとともに、下段に変更前のカリキュラム（旧カリキュラム）の授業科目名を記入してください。

(1) ②担当教員表に関する変更内容

【令和6年度】

- ・基礎教育部門の組織改編に伴い、「生物学」及び「生物学実習」の担当教員を佐原弘益教授から西本裕樹講師に変更。
- ・全学共通科目の内容更新に伴い、「地球共生論」の担当教員のうち、植竹勝治教授、大仲賢二准教授、石原淳子教授、関本征史教授、田原口智士教授、菊水健史教授、江口祐輔教授、松井清彦准教授を森田幸雄教授、澤野祥子教授、新倉保教授、竹田志郎准教授、リンチジョナサン講師、新田梢助教に変更。
- ・教育課程充実に伴い、「ライフサイエンスの数学」の担当教員に西脇洋一准教授を追加。
- ・教育課程充実に伴い、「地球共生系データサイエンス演習Ⅲ」に山本誉士准教授を追加。
- ・教育課程充実に伴い、「愛玩動物学Ⅰ」に兼任教員として村田夏子講師、奥澤優花講師を追加。
- ・教育課程充実に伴い、「生物学実習」の担当教員に大貫敦嗣講師を追加。
- ・担当教員の職位変更による科目担当の見直しに伴い、「疫学概論」の担当教員を石原淳子教授、小手森綾香講師から小手森綾香講師のみに変更。
- ・昇任に伴い、三澤宣雄が講師から准教授に変更。
- ・昇任に伴い、五十嵐寛高が講師から准教授に変更。

- (注) ・ 変更内容を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ **認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合** は、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査（ＡＣ教員審査）を受けてください。**原則としてＡＣ教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
 - ・ ＡＣ教員審査の結果、「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」と記入してください。
- なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「教員審査省略」と記入してください。
- ・ 不要な年度（令和５年度開設であれば令和４年度以前）の表は適宜削除してください。

(2) 専任教員数等

- (注) ・ 計画の区分が「学部等連係課程実施基本組織（学科連係課程実施学科）の設置」の場合、大学設置基準第四十二条の三の二（短期大学設置基準第三条の二）に基づく「連係協力学部等（連係協力学科）」の専任教員数について、「(2) - ① 設置基準上の必要専任教員数」及び「(2) - ② 専任教員等数【大学】」を連係協力学部等（連係協力学科）ごとに別ファイルで作成してください。

(2) - ① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における 設置基準上の必要専 任教員数	うち、完成年度時 における設置基準上の 必要教授数
8 名	4 名

- (注) ・ 大学設置基準別表第一、短期大学設置基準別表第一イ、高等専門学校設置基準第六条第二項及び第三項又は第四項により算出される専任教員数を記入してください。
- ・ 高等専門学校の場合、「うち、完成年度時における設置基準上の必要教授数」欄は「うち、完成年度時における設置基準上の必要教授・准教授数として、高等専門学校設置基準第八条により算出される必要教授・准教授数を記入してください。

(2) - ② 専任教員等数【大学・高専】

設置時の計画						現在（報告時）の状況					
教 授	准教授	講 師	助 教	計 (A)	助手 (A')	教 授	准教授	講 師	助 教	計 (B)	助手 (B')
4	2	3	0	9	0	4	2	3	0	9	0
(4)	(2)	(3)	(0)	(9)	(0)						
現在（報告時）の完成年度時の状況						現在（報告時）の完成年度時の計画					
教 授	准教授	講 師	助 教	計 (C)	助手 (C')	教 授	准教授	講 師	助 教	計 (D)	助手 (D')
4	2	3	0	9	0	4	2	3	0	9	0
[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]

- (注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、() 内に開設時の状況を記入してください。
- ・ 「現在（報告時）の状況」には、報告年度の5月1日の教員数（実人数）を記入してください。
- ・ 「現在（報告時）の完成年度時の状況」には、認可で設置された学部等の場合は、「現在（報告時）の状況」に記入した数字に、教員審査を受審済みであり、完成年度までに就任する教員数を加えた数を、届出で設置された学部等の場合は、「現在（報告時）の状況」に記入した数字に、完成年度までに就任することが決定している教員数を加えた数を記入するとともに、
 [] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：△1）
- ・ 「現在（報告時）の完成年度時の計画」には、予定されている完成年度時の人数を記入するとともに、
 [] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：△1）

(2) - ③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める 定年年齢（歳）	報告時（上記 (B)）の教員のう ち、定年を延長して 採用している教員数	完成年度時（上記 (C)）の教員のう ち、定年を延長して 採用する教員数
65 歳	0 名	0 名

- (注) ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、及び、報告年度の5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数及び完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。
- ・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段階書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

(2) - ④ 設置時の計画に対する教員充足率

$$\frac{\text{現在（報告時）の完成年度時の状況(C)}}{\text{設置時の計画(A)}} = \frac{9}{9} = \boxed{100} \%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) - ⑤ 現在（報告時）の状況における定年を延長している教員構成率

$$\frac{\text{報告時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数}}{\text{現在（報告時）の状況(B)}} = \frac{0}{9} = \boxed{0} \%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) - ⑥ 設置時の計画に対する助手充足率

$$\frac{\text{現在（報告時）の完成年度時の状況(C')}}{\text{設置時の計画(A')}} = \frac{0}{0} = \boxed{-} \%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) 専任教員辞任等の理由

(3) - ① 専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

番 号	職 位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由				
							該当なし				
合 計（D）						後任補充状況の集計（E）					
就任を辞退した教員数		担当科目数の合計（a）+（b）+（c）				①の合計数（a）		②の合計数（b）		③の合計数（c）	
0	人	必修	0	科目	必修	科目	必修	科目	必修	科目	
		選択	0	科目	選択	科目	選択	科目	選択	科目	
		自由	0	科目	自由	科目	自由	科目	自由	科目	
		計	0	科目	計	0 科目	計	0 科目	計	0 科目	

- (注) ・ 認可時又は届出時以降、就任を辞退した**全ての専任教員**の就任辞退の理由を具体的に記入してください。
 ・ 「就任辞退（未就任）」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。
 就任した後に辞任した教員は、以下「(3) - ② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに就任を辞退した場合、**赤字**にて記入するとともに、「就任辞退（未就任）の理由」に就任辞退の理由等及び（ ）書きで報告年度を記入してください。
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) - ② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況

番 号	職 位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由				
							該当なし				
合 計（F）						後任補充状況の集計（G）					
辞任した教員数			担当科目数の合計（a）+（b）+（c）			①の合計数（a）		②の合計数（b）		③の合計数（c）	
0	人	必修	0	科目	必修	科目	必修	科目	必修	科目	
		選択	0	科目	選択	科目	選択	科目	選択	科目	
		自由	0	科目	自由	科目	自由	科目	自由	科目	
		計	0	科目	計	0 科目	計	0 科目	計	0 科目	

- (注) ・ 一度就任した後に、**定年による退職以外の理由で辞任した全ての専任教員**について、記入してください。
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、**赤字**にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び（ ）書きで報告年度を記入してください。
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) - ③ 上記 (3) - ① ・ (3) - ② の合計

合 計（D）+（F）						後任補充状況の集計（E）+（G）				
辞任等した教員数			担当科目数の合計（a）+（b）+（c）			①の合計数（a）		②の合計数（b）		③の合計数（c）
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目

(3) - ④ 設置時の計画に対する教員辞任率

$$\frac{(3)-(3)合計(D)+(F)}{(2)-(2)設置時の計画(A)} = \frac{0}{9} = 0 \%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) - ⑤ 令和5年度報告書から、新たに辞任等した専任教員等の状況

0 人

- (注) ・ (3) - ①、(3) - ②で**赤字**で記載した専任教員数の合計数を記載してください。
 ・ 令和6年度開設の学科等の場合、(D) + (F) と同数を記載してください。

(3) -⑥ 定年により退職した専任教員に対する後任補充状況

番 号	職 位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由		
						該当なし		
合 計					後任補充状況の集計			
辞任した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)			①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)	
0	人	必修	0	科目	必修	科目	必修	科目
		選択	0	科目	選択	科目	選択	科目
		自由	0	科目	自由	科目	自由	科目
		計	0	科目	計	0 科目	計	0 科目

- (注) ・ **定年により退職した全ての専任教員**について、記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、**赤字**にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び () 書きで報告年度を記入してください。
 - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- | |
|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ・ 専任教員が担当する (している) 場合は「①」 ・ 兼任兼担教員が担当する (している) 場合は「②」 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」 |
|---|

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし

- (注) ・ 上記 (3) の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

6 附帯事項等に対する履行状況等

区 分		附 帯 事 項 等		履 行 状 況		今後の の実施計画
届出時 (令和5年)		・獣医学部獣医学科の 収容定員超過の是正に 努めること。	【届出】 遵守事項	広報戦略基本方針に基づく学生募集 及び入試戦略により、令和5年度の 1.26倍から令和6年度は1.24倍に改 善した。引き続き、令和6年度入試 結果等を踏まえ、定員超過の改善に 努めるものとする。（6）	履行中	獣医学科の募集力は高く、広報活動 は堅調であることから、入試動向や 過年度の選抜状況、歩留まり率など を勘案し、選抜を行い定員超過の改 善に努めることとする。（6）
届出時 (令和5年)		・生命・環境科学部臨 床検査技術学科の収容 定員超過の是正に努め ること。	【届出】 遵守事項	広報戦略基本方針に基づく学生募集 及び入試戦略により、令和5年度の 1.26倍から令和6年度は1.25倍に改 善した。引き続き、令和6年度入試 結果等を踏まえ、定員超過の改善に 努めるものとする。（6）	履行中	指定校推薦対象校の選定や基準の見 直し、入試動向や過年度の選抜状 況、歩留まり率などを勘案の上、選 抜を行い定員超過の改善に努めるこ ととする。（6）
届出時 (令和5年)		・生命・環境科学部食 品生命科学学科の収容定 員未充足の是正に努め ること。	【届出】 遵守事項	広報戦略基本方針に基づく学生募 集、入試戦略、定員未充足による重 点施策等を図り、令和5年度の0.69 倍から令和6年度は0.75倍に改善し た。獣医保健看護学科設置に伴う当 該学科の定員変更（減員）が改善の 大きな要因であるが、引き続き、令 和5年度の入試結果等を踏まえ、定 員充足に努めるものとする。（6）	履行中	これまでに実施してきた定員未充足 に対する重点施策事業（教育改革） により、食品生命科学学科の教育の強 化を図り、高校教員、受験生別に広 報展開を行ったことで認知度向上、 理解浸透につながったことから、引 き続き戦略的に広報展開を図る。ま た、入学試験では指定校推薦、一般 推薦、総合型選抜の年内入試受験者 確保に努めたことが改善につながっ たことから、指定校推薦対象校の選 定や基準の見直し、入試動向や過年 度の選抜状況、歩留まり率などを勘 案し、選抜することで定員未充足の 改善に努めることとする。（6）

(注) ・ 「認可時」には、認可時または届出時に付された附帯事項(学校法人の寄附行為又は
寄附行為変更の認可の申請に係る附帯事項を除く。以下同様。)と、それに対する履行状況等について、
具体的に記入してください。

- ・ 認可時または届出時に付された附帯事項に対する履行状況等の記載に当たっては、
以下のとおりに記載してください。

【令和5年度報告書から記載内容に変更がある場合】

令和5年度報告書の記載内容を転記し文末に「(5)」と記載した上で、変更後の「履行状況」及び
「今後の実施計画」を記載し文末に「(6)」と記載してください。

【令和5年度報告書から記載内容に変更がない場合】

令和5年度報告書の記載内容を転記し文末に「(5) (6)」と記載してください。

【令和6年度から新たに調査対象となった学科等又は令和5年度設置計画履行状況調査で付された指摘の場合】

「履行状況」及び「今後の実施計画」を記載し文末に「(6)」と記載してください。

- ・ 「設置計画履行状況調査結果」には、当該年度の調査の結果、当該大学に付された指摘を
全て記入するとともに、付された指摘に対する履行状況等について、具体的かつ明確に記入してください。
その履行状況等の参考や根拠となる資料があれば、添付してください。
- ・ 「履行状況」では、履行中であれば「履行中」、履行が完了していれば「履行済」を選択してください。
- ・ 該当がない場合には、「附帯事項等」の部分に「該当なし」と記入してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査結果」には、当該調査の実施年度の年を記入してください。

7 その他全般的事項

<獣医学部 獣医保健看護学科>

(1) 設置計画変更事項等

設 置 時 の 計 画	変更内容・状況、今後の見通しなど
該当なし	

(注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

(2) 教員の資質の維持向上の方策（FD・SD活動含む）

① 実施体制

a 委員会の設置状況

- ・麻布大学ファカルティ・ディベロップメント推進規程に基づき、FD推進体制の下、授業及び研究指導の内容及び方法の改善を図っている。具体的な取組は、専任教員及び事務職員で構成された教務委員会を設置し、教務事項に係る学長補佐を委員長の下、各学科長等の教学役職者を構成員とし、体系的かつ組織的に円滑な授業改善等への検討、全学科教員への理解浸透、研修会による意識啓発など教育の質の向上を促進する施策を推進している。
- ・本学の教育の充実を組織的に展開し、質の向上を図り学生の成長を組織的に支援するため、麻布大学教育推進機構を設置している。本組織は、役割ごとに5センターが設置され、その役割に応じた取組を行うことで教員の資質向上に係る取組を行っている。一部のセンターは審議機関として教務委員会を置くなど、関連する会議体と有機的な連携を図り、効果の最大化を図っている。
- ・麻布大学スタッフ・ディベロップメント推進規程に基づき、本学の教育研究活動等の適切かつ効果的な運営を図るため、教職員に必要な知識及び技能を習得させ、並びにその能力及び資質を向上させるための取組方針及びその方策を企画検討するため、全学SD委員会を設置している。

b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）

- ・教務委員会：全12回開催し、委員の出席率は概ね90%である。（令和5年度実績）
- ・大学教育推進機構連絡会議：全1回開催し、委員の出席率は概ね90%である。（令和5年度実績）
- ・全学SD委員会：全1回（書面会議）開催し、委員は全員参加（令和5年度実績）

c 委員会の審議事項等

- ・学内補助金施策である優れた教育プランを支援するための「教育改善プログラム」に関すること。
- ・効果的な学事予定に関すること。
- ・IRデータに基づく令和6年度に向けた教育活動の総点検と見直し結果について
- ・1単位当たりの授業時間及び授業時間割1コマ当たり時間並びに授業時程の見直しについて
- ・数理・データサイエンス・AI教育プログラム自己評価について
- ・麻布大学における生成系AIの利用について
- ・中途退学者予防について
- ・SD活動実施結果について

② 実施状況

a 実施内容

- ・麻布大学補助金「教育改善プログラム」成果報告会
- ・グッドティーチング賞表彰式及びFD講演会（学生の授業評価が高い者の表彰及び授業方法の講演）
- ・歯学部・医学部等資格取得学部におけるFD研修会（外部講師招聘）
- ・本学のディプロマポリシー（DP）に関する分析結果及び学生の学修成果の可視化」に関する研修会
- ・AzaMoodleの行動データを用いたドロップアウト懸念者予測モデルの作成」に関するFD研修会
- ・ティーチングポートフォリオ作成に関するFD講演会（ブラッシュアップ研修、新任教員向け研修）
- ・授業評価ヒアリング（単位の取得状況及びGPAが一定基準以下の者に対してヒアリングを実施）

b 実施方法

- ・学内での対面又はオンライン形式による研修会
研修の効果を高めるため、対面形式を推奨しているが、広く意識を浸透させるため、一部はオンデマンド形式で後日配信している。

c 開催状況（教員の参加状況含む）

- ・いずれも全教員の70%～80%程度が参加している。

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

- ・研修会の内容により、アンケートを行い、意見を基に全学的課題への方策に活用している。
- ・授業評価ヒアリングにより、授業方法の改善のほか、単位取得状況の改善につなげている。
- ・学生による授業評価で高評価を得てグッドティーチング賞を受賞した者の授業方法に係る講演は、当該教員の工夫やテクニックが盛り込まれ、全学的な教員の授業方法見直しに活用されている。

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期

- ・前期及び後期の最終授業実施日に学生による授業評価を全科目にてGoogle Formを用いて実施している。

b 教員や学生への公開状況、方法等

- ・結果を取りまとめた後、各科目担当者にフィードバックを行い、改善計画を立てた上で、次回授業に望むこととしている。

（注）・「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。

「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

(3) 教育課程連携協議会に関する事項

※専門職大学、専門職短期大学、専門職学科、専門職大学院以外は「該当なし」と記入ください。

該当なし

(4) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

・麻布大学は、獣医学教育を発祥として今日までヒトと動物との共存及びヒトと自然環境との調和を途を探索することを目的とし、教育研究を享受・発展させ、多数の人材を輩出している。令和6年度に設置した獣医保健看護学科は、愛玩動物看護師の国家資格化に伴う社会的ニーズとともに本学のこれまで築き上げた獣医学、畜産学、動物応用科学の知的・教育財産を基盤に、本領域を発展させ、今後の日本におけるヒトと動物の共生の未来に貢献する人材の育成を目的としている。また、論理的思考能力やコミュニケーション能力、対人スキルなどのリテラシーを身に付け、従来の動物看護師とは一線を画すカリキュラム、教員組織を編成した教育体制を整備している。入学者確保にあつては、令和6年度入学試験において、全試験区分の合計で定員の10倍を上回る志願者数があつたことは、本学の愛玩動物看護師の養成方針に賛同し、実績に基づいた獣医学教育を基盤とする獣医保健看護学教育方針が評価されているといえる。施設面にあつては、大学附属動物病院の増改築が完成し、臨床教育の充実化が図られると期待できるとともに図書、視聴覚教材は計画のとおり設置され、教育研究環境整備が滞りなく進められている。学生支援にあつては、確立された既存の体制に基づき、障がい者支援体制の充実を図りながら学修・学生支援体制も充実が図られている。今後は、まず1年次においては、教養や専門科目の基礎を身に付けながら愛玩動物看護師の職域について広く認知を広げるとともに、学生の学力、資質等を分析し、授業方法などを検討しディプロマポリシーに基づく人材の養成を行っていくこととする。

以上のことから、開設1年目における設置の趣旨・目的の達成状況は良好である。

② 自己点検・評価報告書

a 公表（予定）時期

・令和5年度自己点検・評価報告書は、令和7年4月頃に認証評価結果と併せて公表する予定である。

b 公表方法

・大学ホームページで公表する。

③ 認証評価を受ける計画

（専門職大学、専門職短期大学、専門職大学院については、機関別認証評価と分野別認証評価それぞれの受審計画について記載してください。）

・令和6年度に機関別認証評価及び分野別認証評価（獣医学教育評価）を受審するため、それぞれの評価資料について令和5年度末に大学基準協会に提出している。

（注）・設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(5) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書（令和6年度）

a 公表予定の有無 [☒ 有 ・ ☐ 無]

《aで「有」の場合》

b 公表（予定）時期 [☒ 調査結果公表後1ヶ月以内 ・ ☐ 公表後2～3ヶ月以内 ・ ☐ 公表後3ヶ月以降]

c 公表方法 [☒ ウェブサイトへの掲載 ・ ☐ その他 ()]

《aで公表「無」の場合》

d 公表しない理由 []

※設置計画が各大学等が社会に対して着実に実現していく構想を表したものであることに鑑み、

設置計画履行状況報告書については、各大学等のウェブサイト公表するなど、積極的な情報提供をお願いします。

○麻布大学ファカルティ・ディベロップメント推進規程

平成29年3月17日

規程

(趣旨)

第1条 この規程は、大学設置基準第11条、大学院設置基準第9条の3、麻布大学（以下「本学」という。）学則第25条の2第2項及び本学大学院学則第6条の2第2項の規定に基づき、本学におけるファカルティ・ディベロップメント（以下「FD」という。）の推進に関し、必要な事項を定めるものとする。

(定義)

第2条 この規程において「FD」とは、授業及び研究指導の内容及び方法の改善を図るための組織的な研修及び研究のことをいう。

(FDの具体的取組)

第3条 本学では、FDに取り組むため、以下に掲げる事項を実施するものとする。

- (1) シラバスの定期的点検
- (2) 学生による授業評価
- (3) 成績分布調査
- (4) 国家試験対策に係る各種分析調査
- (5) 新任教員研修
- (6) 現職教員研修
- (7) 非常勤講師研修
- (8) 授業参観
- (9) 各専門分野別の研究会
- (10) 学生の教育ニーズの把握のためのアンケート調査等
- (11) その他、FD推進のために必要な取組として学長が認めた事項

2 前項に掲げる事項の具体的実施細目は、学長が別に定める。

(FD推進体制)

第4条 次の各号に掲げる者及び組織は、当該各号に定めるところにより、前条に掲げるFDの具体的取組を推進する責務を負う。

- (1) 学長
本学におけるFD活動を統括する。
- (2) 大学教育推進機構副機構長、教務委員長（学長が指名する担当学長補佐）及び教育方法開発センター長

本学におけるFD活動を統括する学長を補佐する。

(3) 各学部長及び各研究科長

学長の指示に基づき、FDに関する業務を掌理し、当該部局におけるFD活動を統括する。

(4) 各学科長及び各専攻主任

FDに関する具体的取組の企画、立案、取りまとめを行う。

(5) 各学部教務委員・各研究科FD委員

所属する学部長又は研究科長の指示の下、所属する学科又は専攻内におけるFDの取組を推進する。

(6) 各教員

FDの具体的取組を通じて、教育内容・方法等について、不断の改善を図る。

2 前項第5号のうち、各研究科FD委員は、所属する研究科における専攻単位ごとに当該研究科長が候補者を指名し、学長の承認を得るものとする。

3 FDの推進に当たり、学長は、必要に応じて、各研究科長を加えた上、本学教務委員会を招集して、本学のFDの推進方策について、意見を聴いて実施するものとする。

4 FDの実施に当たり、学長は、必要に応じてワーキンググループを設置することができ、この場合、当該ワーキンググループは、学長が指名する者をもって構成するものとし、学長の命を受けて、FDに関する様々な諸施策を実施するものとする。

(公表)

第5条 FD活動の結果は、学長が適切な方法で公表するものとする。

(FDの活用等)

第6条 第3条に掲げる具体的取組の結果は、本学の教育上の目的を踏まえた教育改善や各教員の職能開発のために活用されなければならない。

2 学長は、特に必要があると認めるときには、各学部長及び各研究科長に対して、改善勧告を行うものとする。

3 前項による改善勧告があった場合、当該学部長又は研究科長は、必要な改善策を講ずるとともに、その結果を速やかに学長に報告しなければならない。

(事務)

第7条 この規程に関する事務は、教務部教務課が行う。

(雑則)

第8条 この規程に定めるもののほか、FDの推進に関し必要な事項は、学長が定める。

(改廃)

第9条 この規程の改廃は、各教授会及び教育研究会議の意見を聴いて学長が行う。

附 則

- 1 この規程は、平成29年3月17日に制定し、平成29年4月1日から施行する。
- 2 麻布大学ファカルティ・ディベロップメント委員会規則（平成27年6月26日制定）は、
廃止する。

附 則

この規程は、令和3年7月27日に改正し、令和3年10月1日から施行する。

附 則

この規程は、令和5年5月11日に改正し、令和4年10月1日から適用する。

○麻布大学大学教育推進機構規則

令和3年7月27日

規則

(趣旨)

第1条 この規則は、麻布大学（以下「本学」という。）学則第8条の2第3項に基づき、大学教育推進機構（以下「機構」という。）の管理運営に関する必要事項を定める。

(目的)

第2条 この機構は、本学の教育の充実を組織的に展開し、質の向上を図るために設置し、学部・学科との連携により全学的な教育の充実を図り学生の成長を組織的に支援することを目的とする。

(組織)

第3条 機構に、次の各号に掲げるセンターを設置する。

- (1) 教育推進センター
- (2) 教育方法開発センター
- (3) データサイエンスセンター
- (4) 教学IRセンター
- (5) 高大接続・社会連携プログラム開発センター

2 前項各号に規定する各センターの設置目的は、次の表に掲げるとおりとする。

組織名称	設置目的
教育推進センター	教育推進センターは、多様な資質を持つ学生が本学の学習環境に適応し、高いモチベーションを維持して学習できるように支援することを目的とする。
教育方法開発センター	教育方法開発センターは、これまで教務委員会の下にワーキンググループを置くなどして検討を進めてきたICT活用方法、教員サポート、学生支援の活動等遠隔授業支援やFD活動、授業改善、教養教育などの検討内容を具体的に定め、推進することを目的とする。
データサイエンスセンター	データサイエンスセンターは、これまで教務委員会の中にワーキンググループを置くなどして検討を進めてきたデータサイエンス関連科目、数理・データサイエンス・AI教育プログラム認定制度への対応や

	文部科学省知識集約型人材育成事業「麻布出る杭事業」への対応などの検討内容を具体的に定め、推進することを目的とする。
教学IRセンター	教学IRセンターは、本学の教育に関する教学IR、本学の教育の質保証及び文部科学省知識集約型人材育成事業「麻布出る杭事業」を推進することを目的とする。
高大接続・社会連携プログラム開発センター	高大連携から高大接続へ、地域連携から社会連携へと本学の取組をより発展させ、麻布出る杭のジェネプロ事業及び課題解決型学習(PBL)の取組を強化・推進し、各取組の成果を大学改革に反映させることで本学の魅力拡大及び教育改革につなげる事を目的とする。

3 第1項各号に規定する各センターの業務内容は、次の表に掲げるとおりとする。

組織名称	業務内容
教育推進センター	・ 本学の各学部において開設する授業科目のうち、獣医学部にあつては基礎教育科目及び生命・環境科学部にあつては教養に係る科目（以下「基礎・教養に係る科目」という。）の学修のためのリメディアル教育（補習教育）に関すること。 ・ 本学に入学する学生が円滑に授業を受けるために必要な能力を身につけるための体系的な準備教育（入学前準備教育プログラム）及びチューター（非常勤で大学のリメディアル教育を担当する者）による個別学生指導等に関すること。 ・ 個々の学生にあった学習計画の策定及び履修相談等の学習支援に関すること。
教育方法開発センター	・ ICT、遠隔授業を基盤とした教育手法の普及促進に関すること。 ・ 教員の教育能力開発に関する事業の企画・実施に関すること。 ・ 授業改善の研修会の企画・実施に関すること。

	・授業コンテンツの著作権管理（授業目的公衆送信保証金制度）等に関すること。 ・教養教育の授業科目の全学的な枠組みで議論に関すること。 ・分野、学部等横断カリキュラム等について総合的な検討に関すること。 ・全学共通科目の実施に関すること。
データサイエンスセンター	・生命科学領域に関係するデータサイエンス関連科目の開講に関すること。 ・ヒトと動物の共生科学センター主催の研究課題のデータ処理、AI構築に関すること。 ・数理、データサイエンス、AI教育プログラムに関すること。
教学IRセンター	・教学データの集計及び分析に関すること。 ・学修成果の測定、分析に関すること。 ・学生調査、授業評価アンケート等の実施及び集計分析に関すること。
高大接続・社会連携プログラム開発センター	・「総合的な探究の時間」に係る探究課題教育への協力、企業又は行政機関若しくは各種団体と連携して課題解決等を題材としたPBL若しくはアントレプレナーシップ教育の推進及びインターンシップ制度の充実・支援に関すること。 ・その他学長が認める高大接続教育プログラム及び社会連携プログラムの開発に関すること。

（機構長）

第4条 機構に機構長を置く。

- 2 機構長の選考は、学校法人麻布獣医学園（以下「学園」という。）人事規則によるものとする。
- 3 機構長の任期は2年とする。ただし、機構長の任期の終期は、学長の任期の終期を超えない期日までとする。
- 4 機構長は、学長の命を受け、機構に関する校務をつかさどるほか、本学動物共生科学ジェネラリスト育成プログラムをつかさどる。

(センター長・副センター長)

第5条 第3条に掲げる各センターに、それぞれセンター長を置く。

- 2 前項に定めるセンター長の選考は、学園人事規則の定めによるものとする。
- 3 前項に定めるセンター長の任期は2年とし、機構長の任期の期初と異なる時期に任命されたセンター長の任期の終期は、機構長の終期を超えない期日までとする。
- 4 機構長は、次条に定める職員の中から、必要に応じて、センター長を補佐することを目的に副センター長を指名することができる。この場合、副センター長の任期は、前項の定めに準ずるものとする。
- 5 第3条に掲げる各センターの長は、必要に応じて、当該センターの第6条に定めるセンター員を招集して、必要な会議を開催することができるものとする。

(センター員等)

第6条 第3条に掲げる各センターに、それぞれ必要な職員を置く。

- 2 前項の規定にかかわらず、教育推進センターにおいては、生物、化学、数学及び英語の各科目の補習教育(リメディアル教育)の内容を企画調整するために「コーディネーター」を置くほか、プレースメントテストの結果を用いた修学指導やチューターによる個別指導が必要な学生に対して働きかけることなどを行う「活動推進委員」を置く。
- 3 前項のコーディネーターにあつては各学部から各科目につき1人又は2人を選出するものとし、活動推進員にあつては各学科1年次クラス担任をもって充てる。

(連携)

第7条 機構は、第2条の目的を達成するため、学部学科及びその他の学内組織と緊密な連携を図るものとする。

(審議機関)

第8条 第3条に掲げる各センターの運営に当たり、重要事項を審議する機関を次のとおり設置して、その任に当たるものとする。

- 2 各センターの連絡調整に関する審議機関として機構連絡会議を置き、その任に当たるものとする。
- 3 教育推進センターに関する審議機関として教育推進センター運営委員会を置き、その任に当たるものとする。
- 4 教育方法開発センター、データサイエンスセンター、教学IRセンター及び高大接続・社会連携プログラム開発センターに関する審議機関として教務委員会を置き、その任に当たるものとする。
- 5 第2項に定める機構連絡会議は、機構長、各センターのセンター長及び副センター長並

びに機構長が必要と認める者をもって構成し、機構長が主宰する。

(庶務等)

第9条 機構に関する庶務は、事務局教務部教務課が行う。

(規則の改廃)

第10条 この規則の改廃は、教育研究会議の意見を聴いて学長が行う。

附 則

- 1 この規則は、令和3年7月27日に制定し、令和3年10月1日から施行する。
- 2 この規則の施行の際、新たに任命する第4条に規定する副機構長及び第5条に規定するセンター長の任期は、各規定にかかわらず、令和4年3月31日までとする。

附 則

この規則は、令和4年3月22日に改正し、令和4年4月1日から施行する。

附 則

(施行期日)

この規則は、令和5年3月27日に改正し、令和5年4月1日から施行する。

(廃止)

麻布大学教育推進センター規則（平成19年3月7日制定）は廃止する。

附 則

この規則は、令和5年4月21日に改正し、令和5年4月1日から適用する。

附 則

この規則は、令和6年3月19日に改正し、令和5年4月1日から適用する。

○麻布大学スタッフ・ディベロップメント推進規程

平成29年3月17日

規程

改正 平成31年3月19日

(趣旨)

第1条 この規程は、大学設置基準第42条の3、大学院設置基準第43条、麻布大学（以下「本学」という。）学則第25条の3第2項及び本学大学院学則第6条の3第2項の規定に基づき、本学におけるスタッフ・ディベロップメント（以下「SD」という。）の推進に関し、必要な事項を定めるものとする。

(定義)

第2条 この規程において「SD」とは、教育研究活動等の適切かつ効果的な運営を図るため、本学教員及び職員（以下「教職員」という。）に必要な知識及び技能を習得させ、並びにその能力及び資質を向上させるための研修のことをいう。

(SDの具体的取組)

第3条 本学では、教育研究活動等の適切かつ効果的な運営を図るため、その教職員に必要な知識及び技能を習得させ、並びにその能力及び資質を向上させるため、以下に掲げる事項を実施するものとする。

- (1) ハラスメント防止対策に関する各種研修
- (2) 研究推進・支援に関する各種研修
- (3) 研究倫理・研究費不正防止対策に関する各種研修
- (4) バイオセキュリティに関する各種研修
- (5) 生物科学総合研究所、学術情報センター、動物管理センター及び動物病院の利用に関する各種研修
- (6) 事務組織における各種研修
- (7) 学校法人麻布獣医学園役員及び学校法人麻布獣医学園人事規則に定める教学役職者に関する各種研修
- (8) その他、SD推進のために必要な取組として理事会、理事長、学長又は事務局長のいずれが必要であると認めた事項

2 前項に掲げる事項の具体的実施細目は、学長が定めるものとし、学長は、その結果を理事長に報告するものとする。

(SD推進組織)

第4条 次の各号に掲げる者及び組織は、当該各号に定めるところにより、前条に掲げるSD

の具体的取組を推進する責務を負う。

(1) 学長

本学におけるSD活動を統括する。

(2) 各学部長、各研究科長及び事務局長

本学におけるSD活動を統括する学長を補佐する。

(3) 学校法人麻布獣医学園給与規程第8条に定める職務手当の給付を受ける役職者

学長の指示に基づき、SDに関する業務を掌理し、当該職務を担う部署におけるSD活動を統括する。

(4) 教職員

SDの具体的取組を通じて、教育研究活動等の適切かつ効果的な運営を図るために必要な知識及び技能を習得し、並びにその能力及び資質向上について、不断の改善を図る。

- 2 SDを推進していくに当たっては、学長が、必要に応じて、次条に定める全学SD委員会を招集して、本学におけるSDの推進方策について、意見を聴いてから実施するものとする。

(全学SD委員会)

第5条 本学の教育研究活動等の適切かつ効果的な運営を図るため、教職員に必要な知識及び技能を習得させ、並びにその能力及び資質を向上させるための取組方針及びその方策を企画検討するため、全学SD委員会（以下「委員会」という。）を設置する。

- 2 委員会の委員は、第4条第1号及び第2号に掲げる者とする。

- 3 委員会に委員長を置き、第4条第1号に定める学長をもって充てる。

(公表)

第6条 SD活動の結果は、学長が、適切な方法で公表するものとし、その結果を理事長に報告するものとする。

(SDの活用等)

第7条 第3条に掲げる具体的取組の結果は、本学の教育研究活動等の適切かつ効果的な運営を図るために活用されなければならない。

- 2 特に必要があると認めるとき、理事長にあつては学長又は事務局長に対して、学長にあつては、各学部長、各研究科長又は事務局長に対して、それぞれ改善勧告を行うことができる。
- 3 前項により改善勧告があった場合、当該勧告を受けた学長、各学部長、各研究科長又は事務局長は、必要な改善策を講じ、その結果を速やかに勧告を付した理事長又は学長に報告するものとする。

(高等学校)

第8条 本学附属高等学校（以下「高等学校」という。）における教育活動等の適切かつ効果的な運営を図るため、高等学校の教員及び職員に必要な知識及び技能を習得させ、並びにその能力及び資質を向上させるための研修については、理事長が、高等学校長の指揮の下で適切に実施するものとする。

(事務)

第9条 この規程に関する事務は、総務部経営企画課の協力の下、総務部人事課が行う。

(雑則)

第10条 この規程に定めるもののほか、SDの推進に関し必要な事項は、学長が定めるものとし、学長は、その結果を理事長に報告するものとする。

(改廃)

第11条 この規程の改廃は、各教授会、教学会議及び学長の意見を聴いて理事長が行う。

附 則

この規程は、平成29年3月17日に制定し、平成29年4月1日から施行する。

附 則

(施行期日)

1 この規程は、平成31年3月19日に改正し、令和元年9月4日（文部科学大臣による寄附行為変更認可を受けた日）から施行する。

(経過措置)

2 この規程の施行の際、現に、その職にある者は、改正後の規程に基づいて行ったものとみなす。